

2023年 2月 10日 (金)

サトーホールディングス株式会社

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

証券コード : 6287

決算ハイライト（前年同期比）

【連結】

Q3累計（4～12月）、Q3（10～12月）ともに増収・増益

【自動認識ソリューション事業 海外】

Q3累計、Q3ともに増収・増益

- ベース事業：底堅い需要の捕捉や価格改定効果によって増収。増収効果およびプリンタの製造コスト上昇のピークアウトで増益
- プライマリー専業：主要市場の生活インフラ業界が堅調。価格改定活動の継続により、増収・増益

【自動認識ソリューション事業 日本】

Q3累計、Q3ともに増収・増益

- メカトロ・サプライともに伸長。自動化ソリューションがけん引。増収効果や海外でのプリンタ販売の伸長を背景とする輸出粗利の増加、販管費のコントロールによって増益

事業セグメント別売上高及び営業利益

(単位：百万円)

※表内下段の () 内数値：ロシア事業を除外

		FY2022 Q3累計	FY2021 Q3累計	前年比		
				前年比	除く為替	
自動認識 ソリューション事業	売上高	108,334 (94,408)	92,388 (85,186)	+17.3% (+10.8%)	+7.0% (+4.9%)	
	営業利益	7,709 (5,170)	4,665 (4,101)	+65.2% (+26.0%)	+43.4% (+20.6%)	
	海外	売上高	53,504 (39,578)	39,072 (31,871)	+36.9% (+24.2%)	+12.7% (+8.2%)
		営業利益	5,666 (3,128)	2,975 (2,411)	+90.5% (+29.7%)	+53.1% (+16.7%)
	日本	売上高	54,829	53,315	+2.8%	+2.8%
		営業利益	2,042	1,690	+20.8%	+26.2%
連結 (消去後)		108,334 (94,408)	92,388 (85,186)	+17.3% (+10.8%)	+7.0% (+4.9%)	
		7,081 (4,542)	4,743 (4,180)	+49.3% (+8.7%)	+27.8% (+3.3%)	

事業セグメント別売上高及び営業利益

(単位：百万円)

※表内下段の () 内数値：ロシア事業を除外

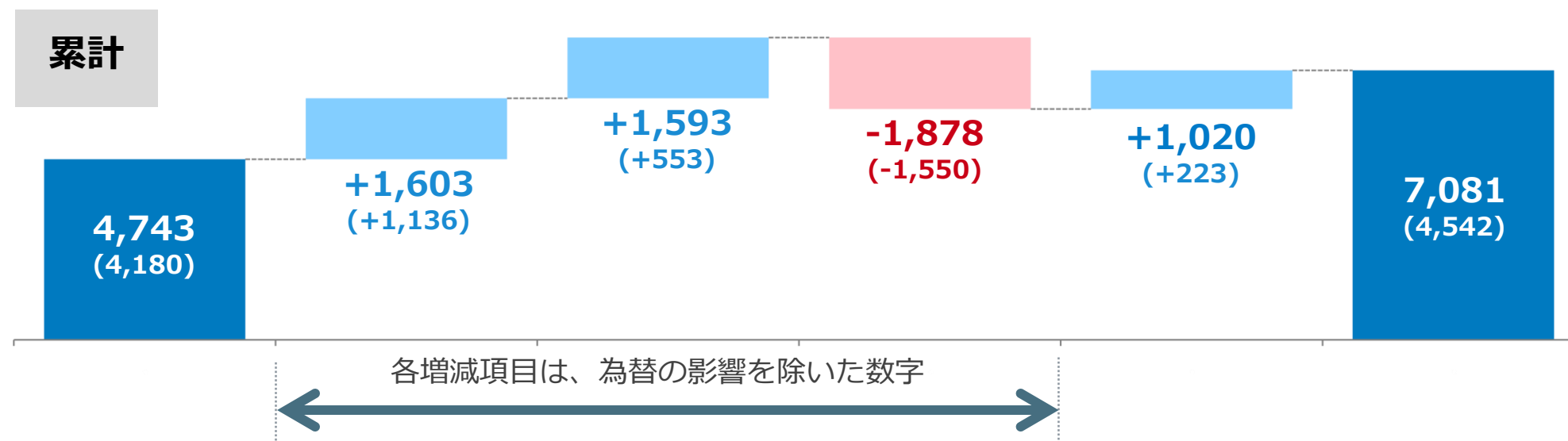
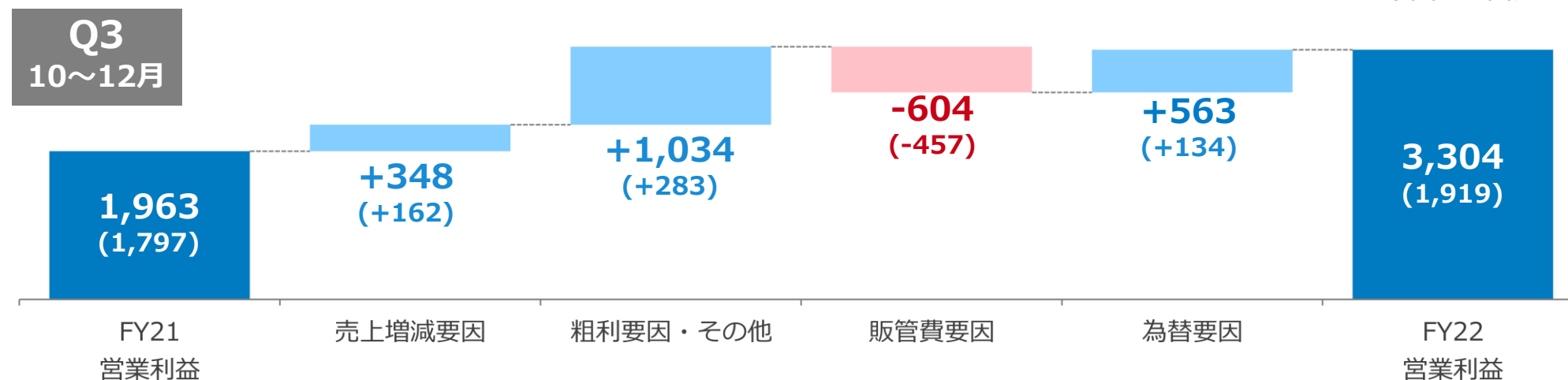
		FY2022	FY2021	前年比		
		Q3	Q3		除く為替	
自動認識 ソリューション事業	売上高	37,871 (32,588)	32,126 (29,493)	+17.9% (+10.5%)	+7.3% (+4.4%)	
	営業利益	3,746 (2,361)	1,903 (1,736)	+96.9% (+36.0%)	+67.2% (+28.2%)	
	海外	売上高	18,626 (13,343)	13,788 (11,155)	+35.1% (+19.6%)	+10.3% (+3.5%)
		営業利益	2,637 (1,252)	1,101 (935)	2.4倍 (+33.9%)	+88.4% (+19.7%)
	日本	売上高	19,244	18,337	+4.9%	+4.9%
		営業利益	1,108	801	+38.3%	+38.2%
連結 (消去後)		37,871 (32,588)	32,126 (29,493)	+17.9% (+10.5%)	+7.3% (+4.4%)	
		3,304 (1,919)	1,963 (1,797)	+68.3% (+6.8%)	+39.6% (-0.7%)	

営業利益 前年との比較

P.17記載の「計上区分の変更」は考慮せず

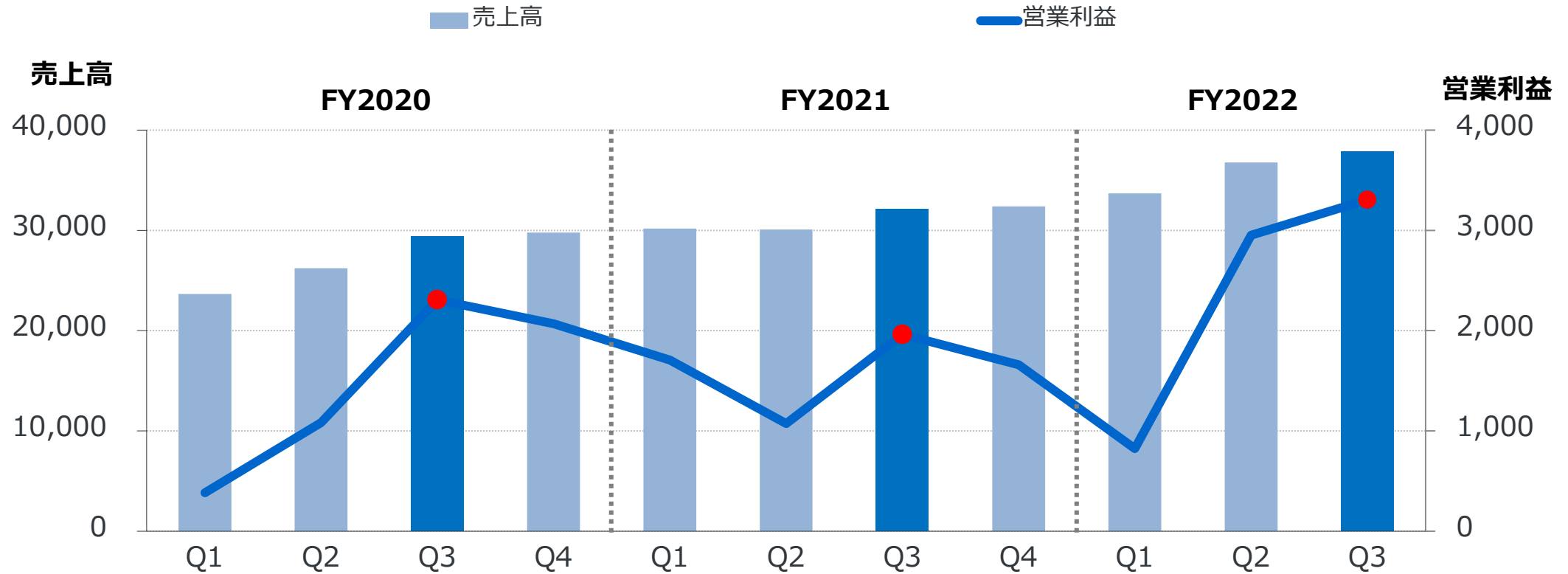
※グラフの () 内数値：ロシア事業を除外

(単位：百万円)



売上高・営業利益 推移

(単位：百万円)



売上高	23,651	26,221	29,398	29,781	30,177	30,084	32,126	32,395	33,686	36,777	37,871
前年比	-16.9%	-10.8%	-1.8%	+4.2%	+27.6%	+14.7%	+9.3%	+8.8%	+11.6%	+22.2%	+17.9%
営業利益	385	1,084	2,307	2,069	1,706	1,073	1,963	1,660	824	2,951	3,304
前年比	-74.5%	-46.5%	+9.7%	+14.0%	4.4倍	-1.0%	-14.9%	-19.8%	-51.7%	2.7倍	+68.3%

業績

(単位：百万円)

※表内下段の（）内数値：ロシア事業を除外

	FY2022	FY2021	
	Q3累計	Q3累計	増減 前年比
売上高	108,334 (94,408)	92,388 (85,186)	+15,946 (+9,221) +17.3% (+10.8%)
営業利益	7,081 (4,542)	4,743 (4,180)	+2,337 (+362) +49.3% (+8.7%)
営業利益率	6.5% (4.8%)	5.1% (4.9%)	+1.4pt (-0.1pt) -
経常利益	7,676 (4,528)	4,610 (3,950)	+3,065 (+577) +66.5% (+14.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,116 (3,211)	2,952 (2,524)	+2,164 (+686) +73.3% (+27.2%)
実効税率	23.6%	31.9%	-8.3pt -
EBITDA [※]	10,991 (7,893)	8,087 (7,179)	+2,903 (+713) +35.9% (+9.9%)

FY22 Q3累計 為替レート (期中平均) : 136.49円/USD, 140.60円/EUR (FY21 Q3累計 同為替レート : 111.13円/USD, 130.59円/EUR)
 為替感応度 : すべての通貨が1円/USDの円安に連動した場合、売上高+461百万円、営業利益+9百万円 (FY22通期ベース)

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費
 ・減価償却 FY22 Q3累計 : 3,672百万円 (3,113百万円)
 ・のれん償却 FY22 Q3累計 : 237百万円 (237百万円)

FY21 Q3累計 : 3,166百万円 (2,822百万円)
 FY21 Q3累計 : 176百万円 (176百万円)

業績

(単位：百万円)

※表内下段の（）内数値：ロシア事業を除外

	FY2022	FY2021	増減	前年比
	Q3	Q3		
売上高	37,871 (32,588)	32,126 (29,493)	+5,744 (+3,095)	+17.9% (+10.5%)
営業利益	3,304 (1,919)	1,963 (1,797)	+1,341 (+122)	+68.3% (+6.8%)
営業利益率	8.7% (5.9%)	6.1% (6.1%)	+2.6pt (-0.2pt)	- -
経常利益	2,708 (1,752)	1,914 (1,733)	+793 (+18)	+41.4% (+1.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,887 (1,252)	1,103 (984)	+783 (+268)	+71.0% (+27.3%)
実効税率	20.9%	40.4%	-19.5pt	-
EBITDA [※]	4,599 (3,034)	3,112 (2,824)	+1,486 (+209)	+47.8% (+7.4%)

FY22 Q3累計 為替レート (期中平均) : 136.49円/USD, 140.60円/EUR (FY21 Q3累計 同為替レート : 111.13円/USD, 130.59円/EUR)
 為替感応度 : すべての通貨が1円/USDの円安に連動した場合、売上高+461百万円、営業利益+9百万円 (FY22通期ベース)

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

・減価償却 FY22 Q3 : 1,213百万円 (1,034百万円)

・のれん償却 FY22 Q3 : 80百万円 (80百万円)

FY21 Q3 : 1,089百万円 (968百万円)

FY21 Q3 : 59百万円 (59百万円)

総括

Q3
10~12月

コト売りの浸透により需要を確実に捉えたこと、また価格改定活動を継続したことにより、全地域で増収。主に増収効果およびプリンタ製造コスト上昇のピークアウトで工場収益が改善して増益

(単位：百万円)

※表内下段の（）内数値：ロシア事業を除外

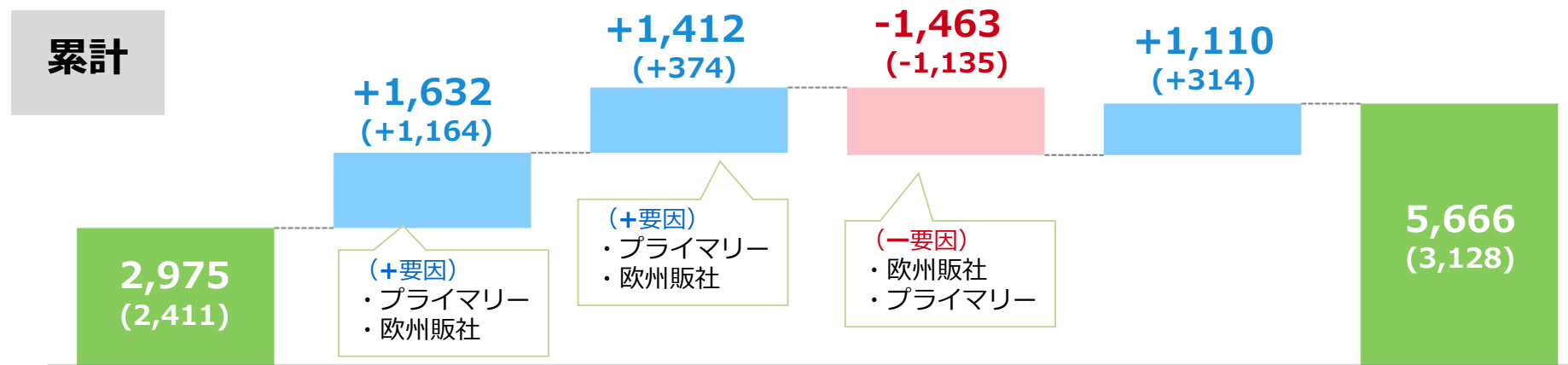
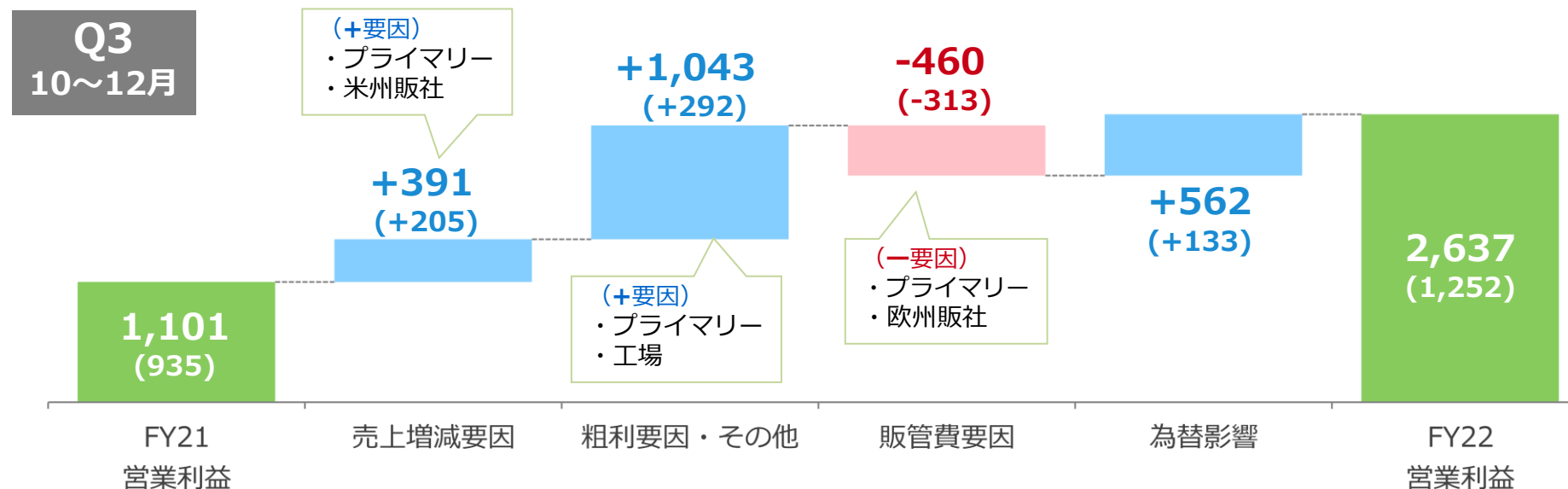
	FY2022	FY2021	増減	前年比	除く為替
	Q3	Q3		前年比	除く為替
売上高	18,626 (13,343)	13,788 (11,155)	+4,838 (+2,188)	+35.1% (+19.6%)	+10.3% (+3.5%)
粗利額	7,343 (5,250)	4,602 (4,091)	+2,740 (+1,158)	+59.6% (+28.3%)	- -
粗利率（外売）	39.4% (39.3%)	33.4% (36.7%)	+6.0pt (+2.7pt)	- -	- -
営業利益	2,637 (1,252)	1,101 (935)	+1,536 (+317)	2.4倍 (+33.9%)	+88.4% (+19.7%)
営業利益率	14.2% (9.4%)	8.0% (8.4%)	+6.2pt (+1.0pt)	- -	- -

	FY2022	FY2021	増減	前年比	除く為替
	累計	累計		前年比	除く為替
売上高	53,504 (39,578)	39,072 (31,871)	+14,432 (+7,707)	+36.9% (+24.2%)	+12.7% (+8.2%)
粗利額	19,493 (15,126)	13,288 (11,797)	+6,205 (+3,328)	+46.7% (+28.2%)	- -
粗利率（外売）	36.4% (38.2%)	34.0% (37.0%)	+2.4pt (+1.2pt)	- -	- -
営業利益	5,666 (3,128)	2,975 (2,411)	+2,691 (+716)	+90.5% (+29.7%)	+53.1% (+16.7%)
営業利益率	10.6% (7.9%)	7.6% (7.6%)	+3.0pt (+0.3pt)	- -	- -

営業利益 前年との比較

（単位：百万円）

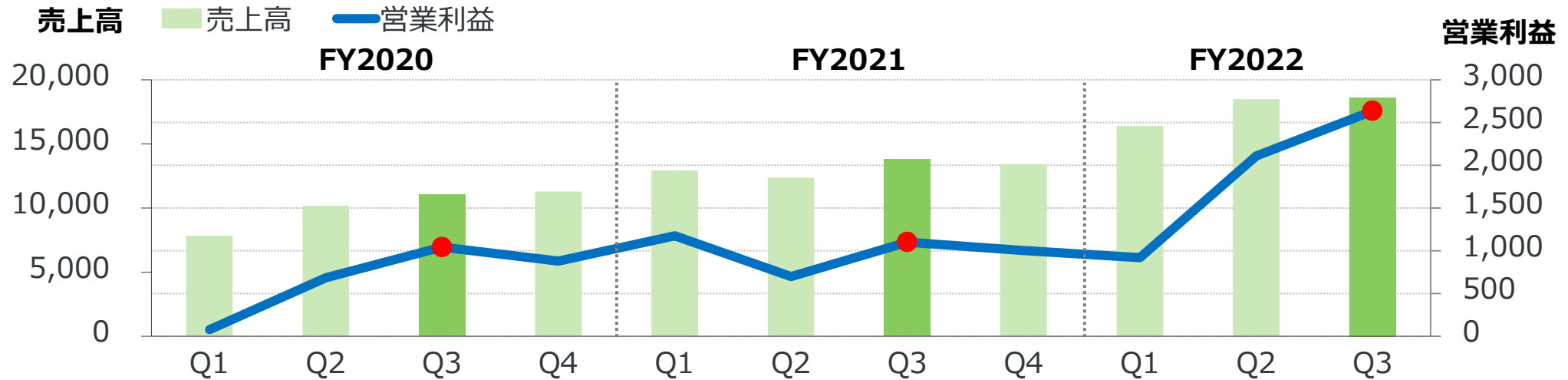
※グラフの（）内数値：ロシア事業を除外。吹き出し内の記載は、ロシア事業を含む



各増減項目は、為替の影響を除いた数字

売上高・営業利益 推移

（単位：百万円）



売上高	7,844	10,168	11,045	11,290	12,929	12,354	13,788	13,423	16,394	18,483	18,626
前年比	-27.8%	-5.3%	-0.7%	+13.8%	+64.8%	+21.5%	+24.8%	+18.9%	+26.8%	+49.6%	+35.1%
営業利益	77	683	1,043	880	1,175	698	1,101	1,003	919	2,109	2,637
前年比	-86.1%	+14.8%	+35.1%	2.5倍	15.1倍	+2.2%	+5.6%	+14.0%	-21.8%	3.0倍	2.4倍

米州

Q3
10~12月

ベース事業：米国リテール市場などで、コト売りによって底堅い需要を捕捉。特にプリンタが伸長。

価格改定活動も奏功して増収・増益

プライマリー専業：生活インフラ業界向けが堅調。価格改定活動の継続により増収・増益

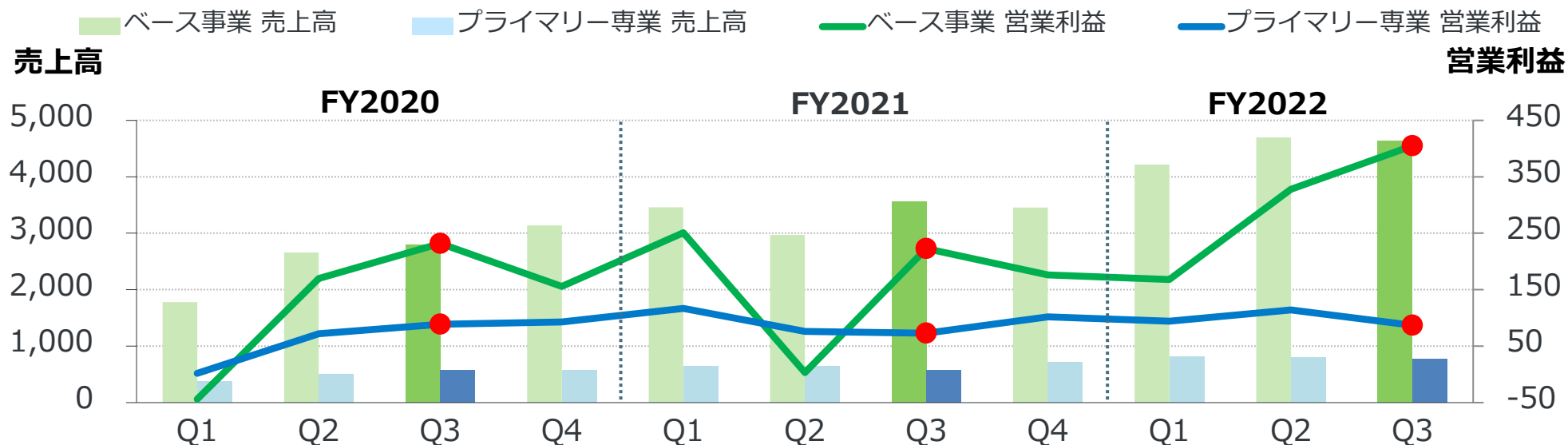
(単位：百万円)

		FY2022	FY2021	増減		
		Q3	Q3		%	除く為替
ベース事業	売上高	4,626	3,554	+1,071	+30.2%	+6.1%
	営業利益	405	223	+181	+81.1%	+54.0%
プライマリー専業 ・ Achernar社 ・ Prakolar社	売上高	769	576	+192	+33.4%	+26.9%
	営業利益	87	73	+13	+18.7%	+48.9%
合計	売上高	5,395	4,131	+1,264	+30.6%	+9.0%
	営業利益	493	297	+195	+65.7%	+52.7%

		FY2022	FY2021	増減		
		累計	累計		%	除く為替
ベース事業	売上高	13,535	9,983	+3,551	+35.6%	+11.3%
	営業利益	902	479	+423	+88.4%	+58.5%
プライマリー専業 ・ Achernar社 ・ Prakolar社	売上高	2,396	1,869	+527	+28.2%	+17.1%
	営業利益	296	267	+29	+11.1%	+20.6%
合計	売上高	15,932	11,852	+4,079	+34.4%	+12.3%
	営業利益	1,199	746	+453	+60.7%	+44.9%

米州 売上高・営業利益 推移

(単位：百万円)



ベース	売上高	1,781	2,660	2,794	3,140	3,458	2,970	3,554	3,456	4,214	4,694	4,626
	前年比	-36.3%	-2.0%	-0.6%	+17.8%	+94.2%	+11.6%	+27.2%	+10.1%	+21.8%	+58.1%	+30.2%
	営業利益	-44	170	232	156	251	3	223	176	168	328	405
	前年比	-	+45.6%	+54.8%	3.6倍	-	-97.8%	-3.6%	+13.1%	-32.9%	87.3倍	+81.1%
プライマリー	売上高	378	498	571	576	648	643	576	717	821	806	769
	前年比	-34.5%	-15.0%	+14.9%	+7.3%	+71.4%	+29.2%	+0.8%	+24.6%	+26.6%	+25.3%	+33.4%
	営業利益	2	72	89	93	117	76	73	102	94	114	87
	前年比	-85.4%	+19.8%	2.3倍	3.4倍	45.9倍	+4.7%	-18.0%	+9.2%	-19.0%	+50.2%	+18.7%

欧州

Q3
10~12月

ベース事業： 外食やリテールなどターゲット業界への注力や、価格改定活動の継続により増収。

直販は堅調も、代理店経由の販売が限定的だったことにより、営業利益は横ばい

プライマリー専業： ロシアOkil社での食品・飲料など既存ビジネスの深耕や価格改定活動により増収・増益

(単位：百万円)

※表内下段の () 内数値：ロシア事業を除外

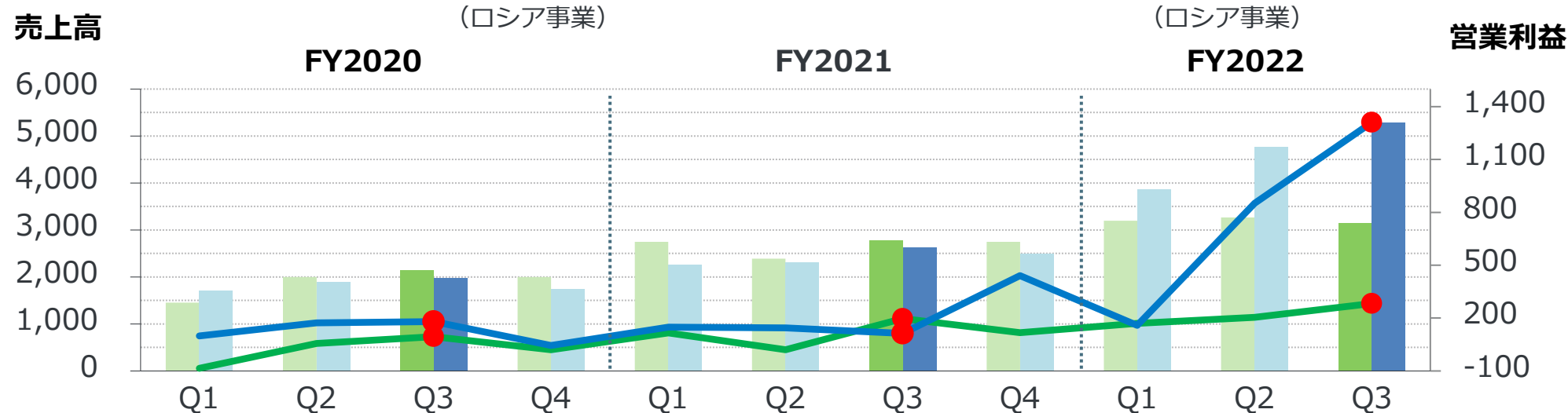
		FY2022	FY2021	増減	増減	
		Q3	Q3		%	除く為替
ベース事業	売上高	3,149	2,785	+363	+13.0%	+2.2%
	営業利益	196	197	+0	-0.5%	-9.5%
プライマリー専業 (ロシア事業) ・ Okil社 ・ X-Pack社	売上高	5,282 (0)	2,633 (0)	+2,649 (0)	2.0倍 -	+39.1% -
	営業利益	1,311 (-74)	113 (-53)	+1,198 (-20)	11.6倍 -	8.0倍 -
合計	売上高	8,431 (3,149)	5,419 (2,785)	+3,012 (+363)	+55.6% (+13.0%)	+20.2% (+2.2%)
	営業利益	1,508 (122)	310 (144)	+1,197 (-21)	4.9倍 (-15.0%)	3.5倍 (-11.7%)

		FY2022	FY2021	増減	増減	
		累計	累計		%	除く為替
ベース事業	売上高	9,612	7,924	+1,687	+21.3%	+12.8%
	営業利益	571	334	+237	+71.1%	+61.0%
プライマリー専業 (ロシア事業) ・ Okil社 ・ X-Pack社	売上高	13,926 (0)	7,201 (0)	+6,724 (0)	+93.4% -	+32.7% -
	営業利益	2,322 (-216)	406 (-157)	+1,915 (-59)	5.7倍 -	3.9倍 -
合計	売上高	23,538 (9,612)	15,126 (7,924)	+8,412 (+1,687)	+55.6% (+21.3%)	+22.3% (+12.8%)
	営業利益	2,893 (355)	740 (177)	+2,153 (+178)	3.9倍 (2.0倍)	2.9倍 (2.2倍)

欧州 売上高・営業利益 推移

(単位：百万円)

■ ベース事業 売上高 ■ プライマリー専業 売上高 ■ ベース事業 営業利益 ■ プライマリー専業 営業利益



	項目	FY2020				FY2021				FY2022			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	
ベース	売上高	1,453	2,000	2,137	1,996	2,746	2,391	2,785	2,749	3,195	3,268	3,149	
	前年比	-39.1%	-3.2%	-3.1%	-11.8%	+89.0%	+19.5%	+30.4%	+37.7%	+16.3%	+36.6%	+13.0%	
	営業利益	-86	56	94	20	115	20	197	117	170	204	196	
	前年比	-	2.2倍	+9.6%	-84.2%	-	-63.8%	2.1倍	5.7倍	+46.9%	10.0倍	-0.5%	
プライマリー (ロシア事業)	売上高	1,711	1,891	1,974	1,737	2,256	2,311	2,633	2,499	3,867	4,775	5,282	
	前年比	-2.3%	+1.3%	+6.0%	+9.2%	+31.9%	+22.2%	+33.4%	+43.8%	+71.4%	2.1倍	2.0倍	
	営業利益	98	172	180	45	149	144	113	441	159	851	1,311	
	前年比	-	-	8.0倍	-	+51.8%	-16.3%	-37.5%	9.7倍	+6.8%	5.9倍	11.6倍	

アジア・オセアニア

Q3
10~12月

ベース事業：ほぼ全ての国・地域で増収。販社での増収効果や、プリンタの製造コスト上昇のピークアウト、プリンタ出荷の増加を背景とした工場収益の改善で増益

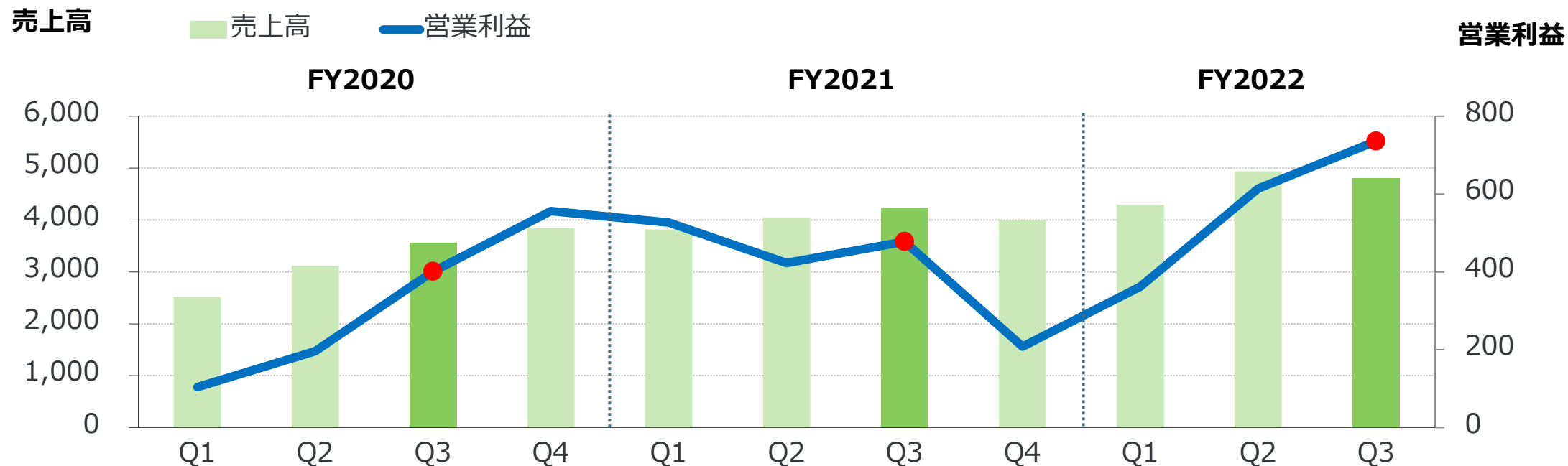
(単位：百万円)

		FY2022 Q3	FY2021 Q3	増減	前年比	除く為替
ベース事業	売上高	4,799	4,238			
	営業利益	736	478	+257	+53.9%	+33.1%

		FY2022 累計	FY2021 累計	増減	前年比	除く為替
ベース事業	売上高	14,033	12,093			
	営業利益	1,713	1,429	+283	+19.9%	+3.7%

アジア・オセアニア 売上高・営業利益 推移

(単位：百万円)



ベース	売上高	2,520	3,117	3,567	3,839	3,817	4,037	4,238	4,000	4,296	4,938	4,799
	前年比	-24.9%	-11.1%	-4.6%	+34.0%	+51.5%	+29.5%	+18.8%	+4.2%	+12.5%	+22.3%	+13.2%
	営業利益	104	196	401	556	527	423	478	208	362	614	736
	前年比	-64.5%	-47.6%	-20.5%	3.2倍	5.1倍	2.2倍	+19.2%	-62.6%	-31.2%	+44.9%	+53.9%

総括

Q3

10~12月

メカトロ・サプライともに伸長。メカトロは自動化ソリューションや保守・サポートがけん引。増収効果や海外販社向けプリンタ販売の伸長による輸出粗利の増加、販管費のコントロールで増益

(単位：百万円)

	FY2022	FY2021	増減	前年比
	Q3	Q3		
メカトロ売上高	7,540	6,928	+612	+8.8%
サプライ売上高	11,703	11,409	+294	+2.6%
外部売上高 計	19,244	18,337	+906	+4.9%
粗利額	8,797	8,453	+343	+4.1%
粗利率（外売）	45.7%	46.1%	-0.4pt	-
営業利益	1,108	801	+307	+38.3%
営業利益率	5.8%	4.4%	+1.4pt	-

	FY2022	FY2021	増減	前年比
	累計	累計		
メカトロ売上高	21,210	20,992	+217	+1.0%
サプライ売上高	33,619	32,322	+1,297	+4.0%
外部売上高 計	54,829	53,315	+1,514	+2.8%
粗利額※	25,332	24,903	+428	+1.7%
粗利率（外売）	46.2%	46.7%	-0.5pt	-
営業利益	2,042	1,690	+351	+20.8%
営業利益率	3.7%	3.2%	+0.6pt	-

メカトロ：プリンタやラベル自動貼付機器、スキャナ、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど

サプライ：消耗品。可変情報ラベル、RFIDタグ、プライマリーラベル（商品シール）、リボンなど

外部売上計はメカトロ、サプライ、その他の合算。FY21-Q4より商品区分を一部見直し

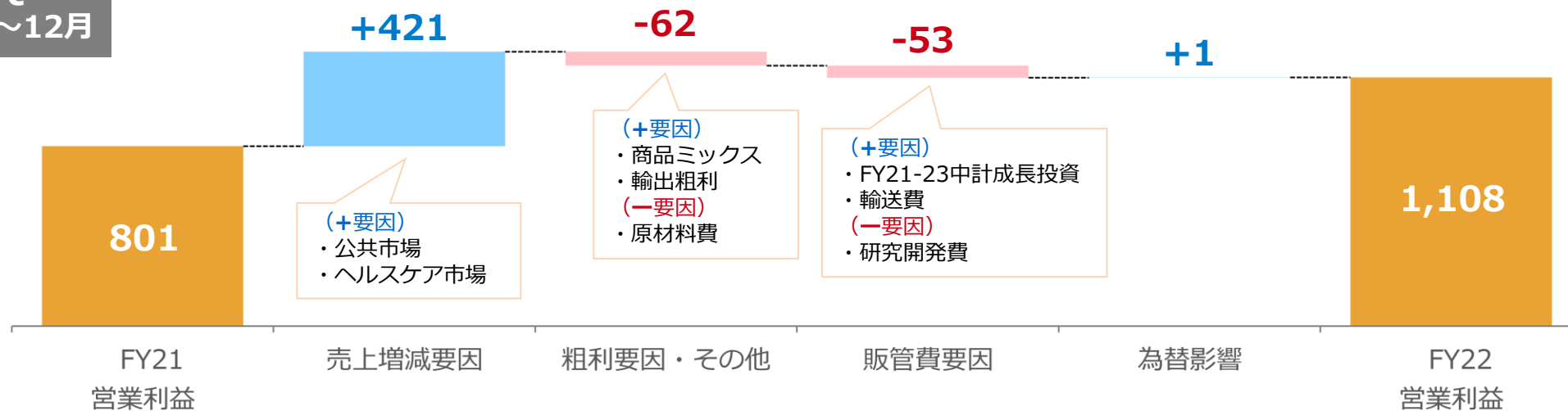
※ FY21-Q3より保守に関わる費用を販管費から原価へ計上区分を変更。これにより粗利率は約0.7pt低下

営業利益 前年との比較

P. 17記載の「計上区分の変更」は考慮せず

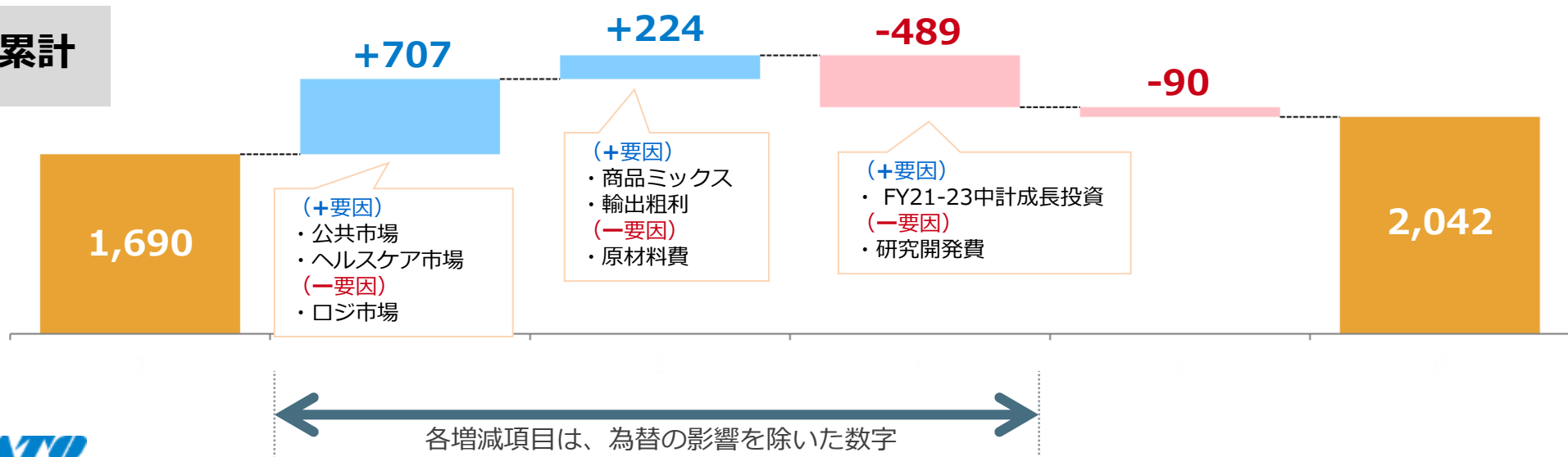
Q3
10~12月

(単位：百万円)



<参考：前年との比較> *1	
原材料費 ネット上昇 *2	約+410
輸送費上昇 *3	約-170
FY21-23中計 成長投資 *4	約-210

累計



<参考：前年との比較> *1	
原材料費 ネット上昇 *2	約+820
輸送費上昇 *3	約-30
FY21-23中計 成長投資 *4	約-370

*1：為替影響は考慮せず
*2：原材料費の上昇と価格改定のネット
*3：航空便使用による上昇分
*4：プリンタ共通プラットフォーム開発、新ITシステム

← 各増減項目は、為替の影響を除いた数字 →

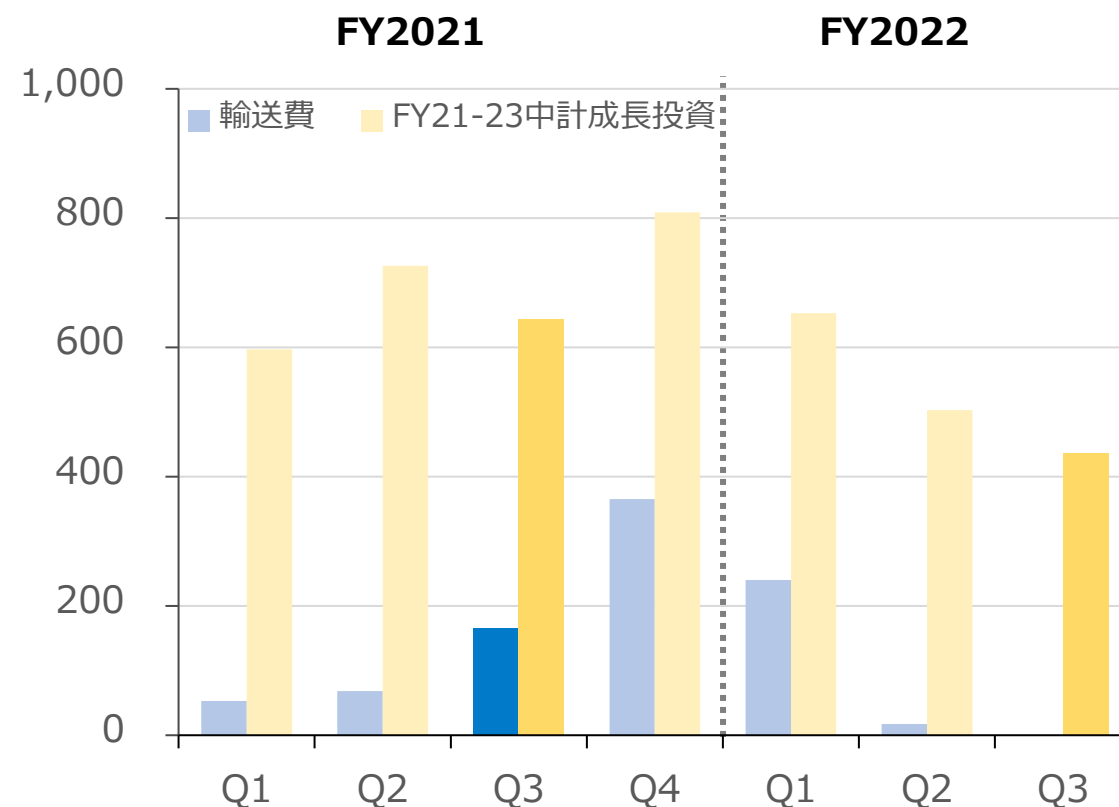
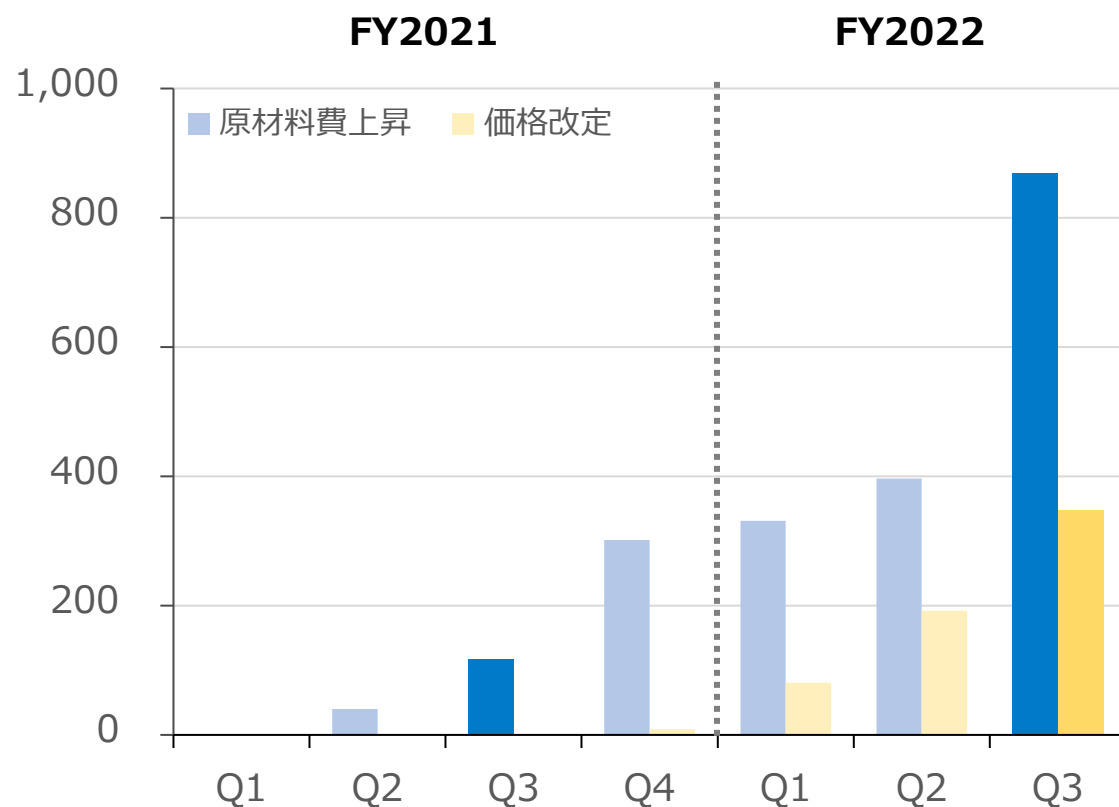
原材料費上昇・価格改定、輸送費及びFY21-23中計成長投資 推移

上期決算発表時点*での見通しに沿って推移

(単位：百万円)

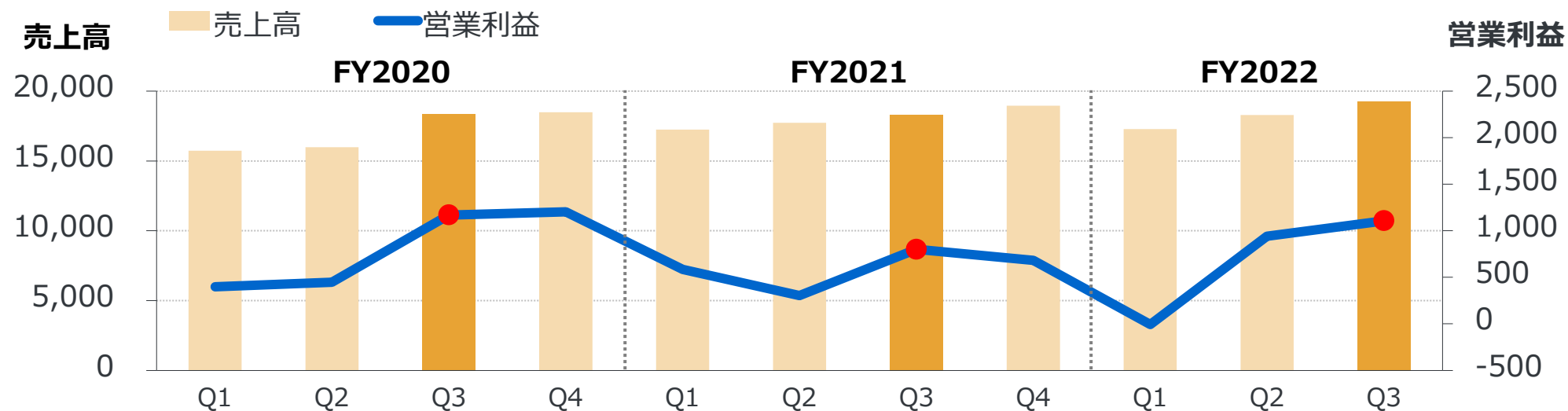
原材料費上昇・価格改定（粗利に影響）

輸送費及びFY21-23中計成長投資（販管費に影響）



売上高・営業利益 推移

（単位：百万円）



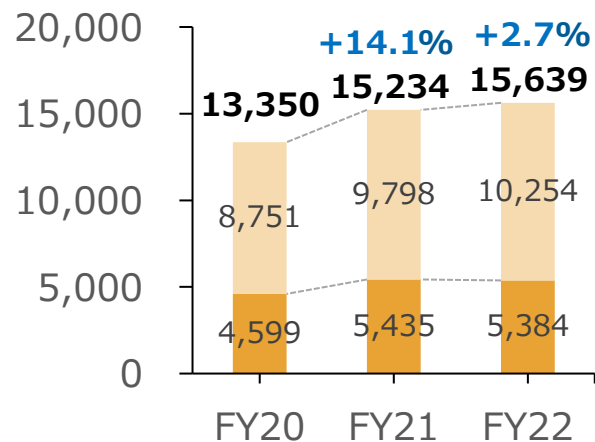
売上高	15,730	15,991	18,352	18,490	17,248	17,729	18,337	18,971	17,291	18,294	19,244
前年比	-10.1%	-13.9%	-1.9%	-0.5%	+9.6%	+10.9%	-0.1%	+2.6%	+0.2%	+3.2%	+4.9%
営業利益	399	448	1,170	1,203	585	303	801	682	-8	941	1,108
前年比	-69.7%	-74.6%	-31.1%	-29.1%	+46.7%	-32.4%	-31.5%	-43.3%	-	3.1倍	+38.3%

市場別売上高推移

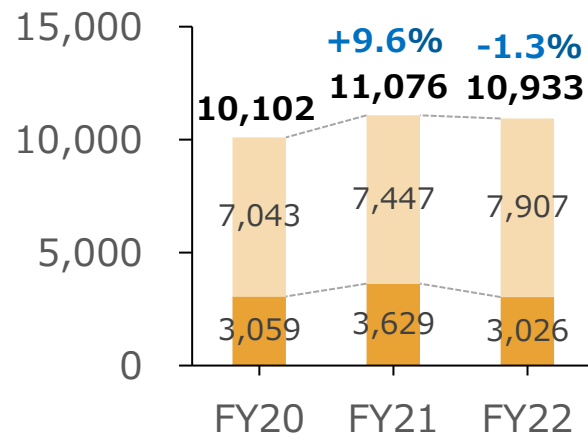
■ : メカトロ ■ : サプライ ※%は前年同期比

(単位：百万円)

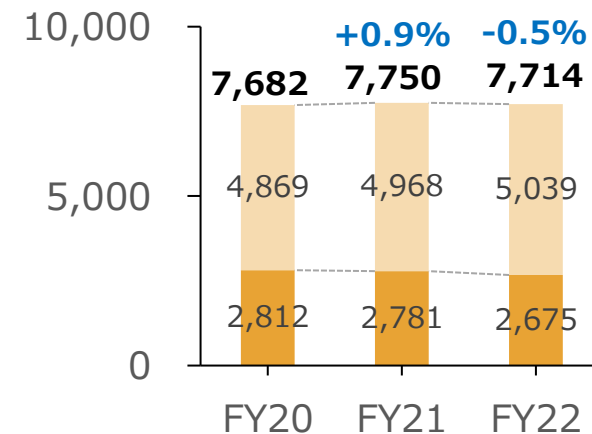
マニュファクチャリング



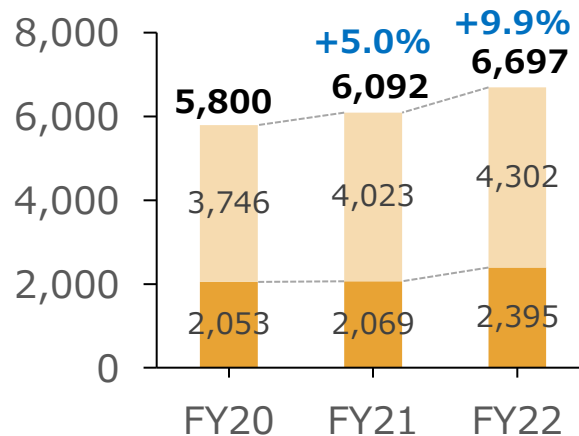
ロジスティクス



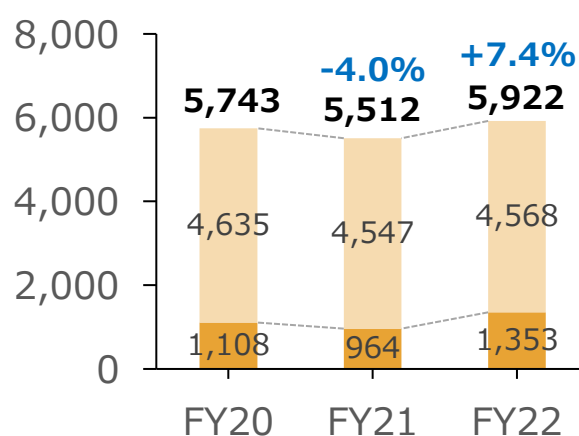
リテール



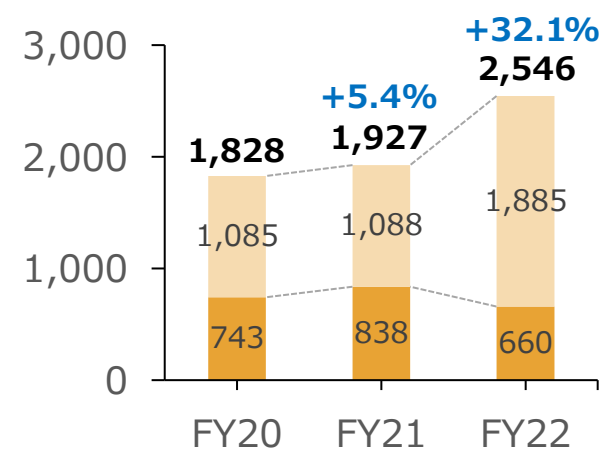
ヘルスケア



フード



公共

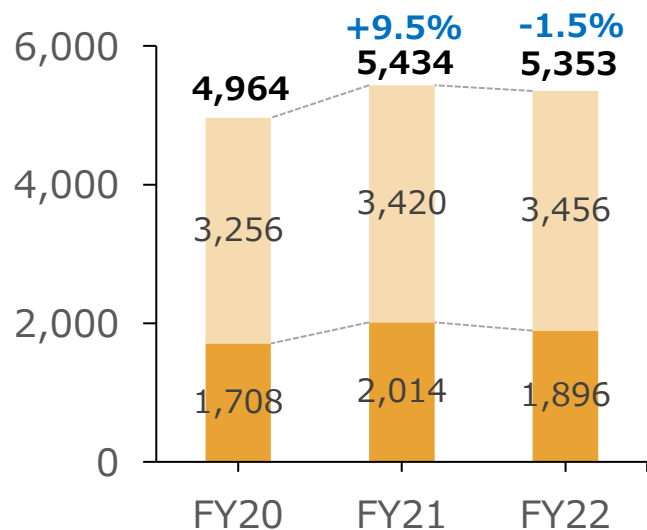


市場別売上高推移 (1/2)

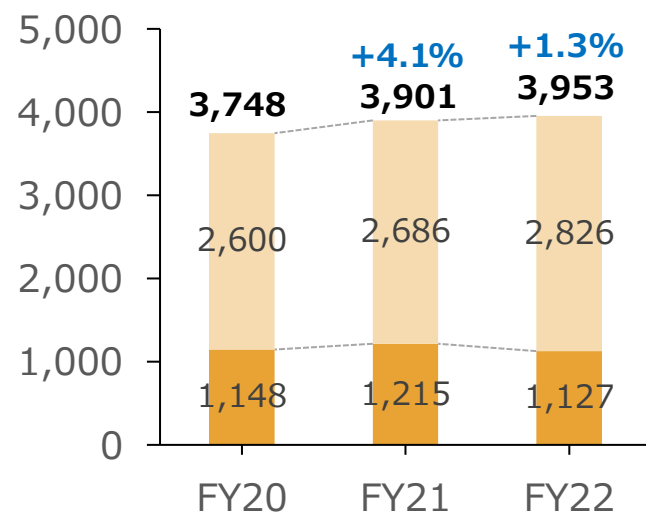
(単位：百万円)

■：メカトロ ■：サプライ ※%は前年同期比

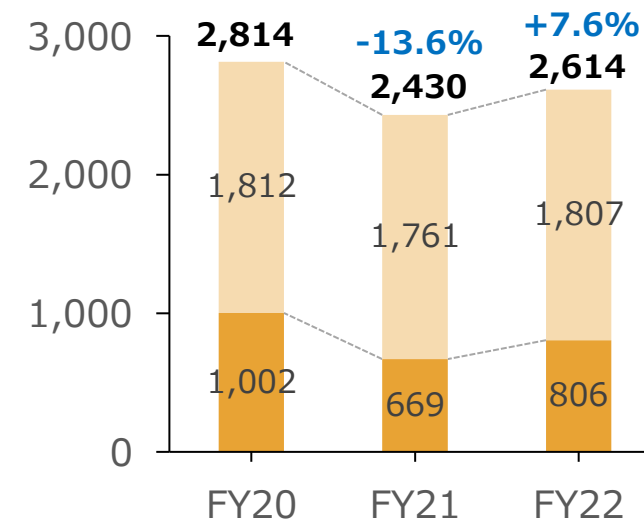
マニファクチャリング



ロジスティクス



リテール



事業環境

半導体需要の一服感から、関連する電機や電子部品、化学は調整の兆し。生産性向上への投資も選別が進む

EC堅調に加え、インバウンド復調などもあって全般に改善傾向。物量増に起因の人手不足やDX化対応ニーズが継続

食品スーパーをはじめとした店舗におけるDX化や効率化など必要な投資は継続。EC業界は引き続き堅調

当社状況

サプライは自動車回復も化学などの減少により微増。メカトロは自動化案件が増加も、前年同期の電子部品、電機の好調さが一服するなど減少

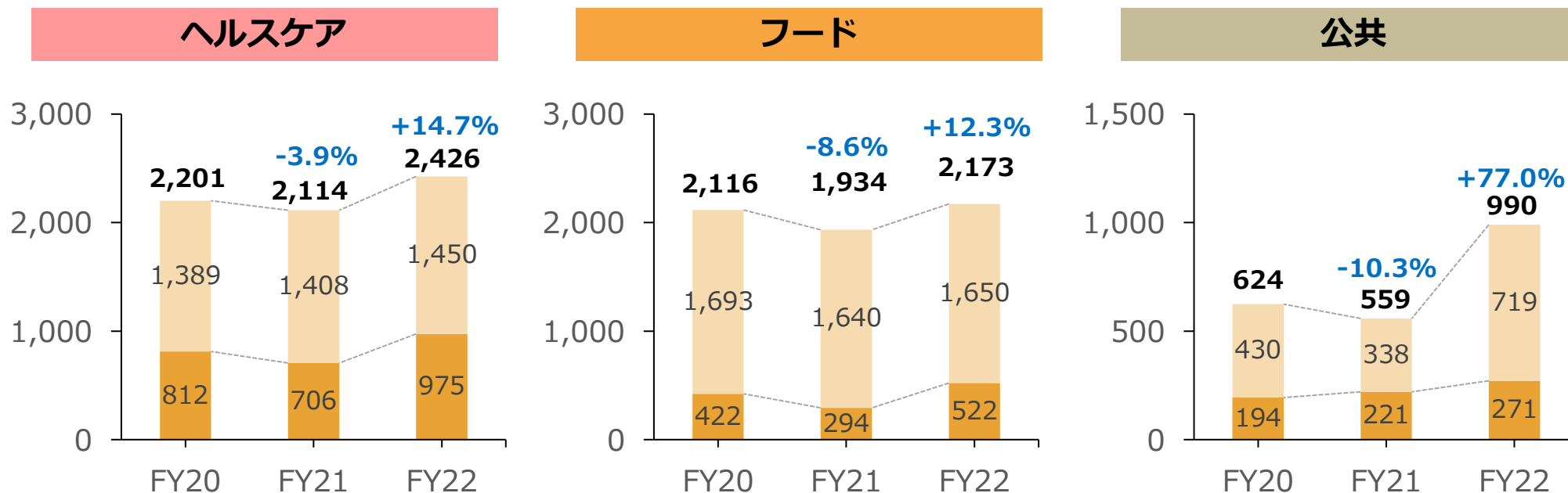
サプライは卸の回復がけん引して伸長。メカトロは自動化やRFIDへの需要が好調も、前年同期のプリンタリプレイス商談の反動などで減少

サプライは主に商品小売業の人手不足対応などにより微増。メカトロはアパレルなどでの自動化ニーズがけん引して増加

市場別売上高推移 (2/2)

(単位：百万円)

■：メカトロ ■：サプライ ※%は前年同期比



事業環境

管理業務効率化や人手不足への対応など、全般に需要は底堅い。自動化などへの投資が継続

外食が回復傾向。また原材料価格高騰や人手不足への対応ニーズを背景に、自動化やトレーサビリティなどの需要が継続

全般に外部環境は安定

当社状況

サプライはRFIDを活用した管理ニーズへの対応などにより微増。メカトロは主に医療機器メーカーの自動化ニーズなどを捉えて大幅に伸長

サプライは外食が回復も、食品製造での減少などから横ばい。メカトロは飲料や食品製造業での自動化商談がけん引して大幅に増加

サプライ・メカトロともに大口顧客からの受注により大幅に伸長

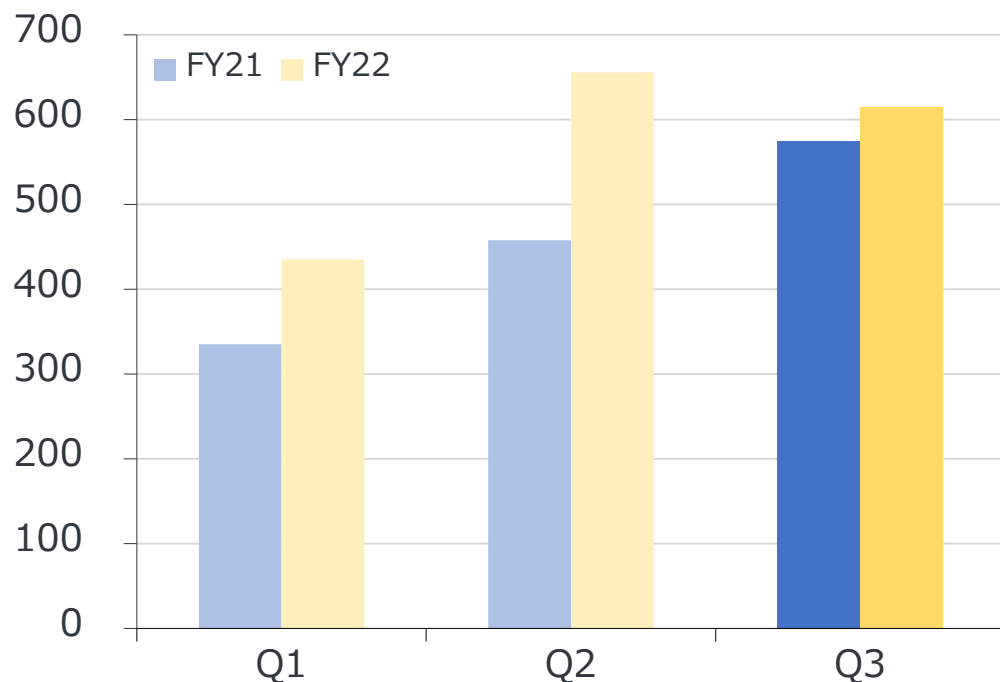
RFID/自動化ソリューション売上高 推移

人手不足やDX化への対応などを背景に、RFIDと自動化ソリューションへの需要が堅調。
製造や開発・設計など供給面での改善も寄与し、前年同期比で売上が伸長

（単位：百万円）

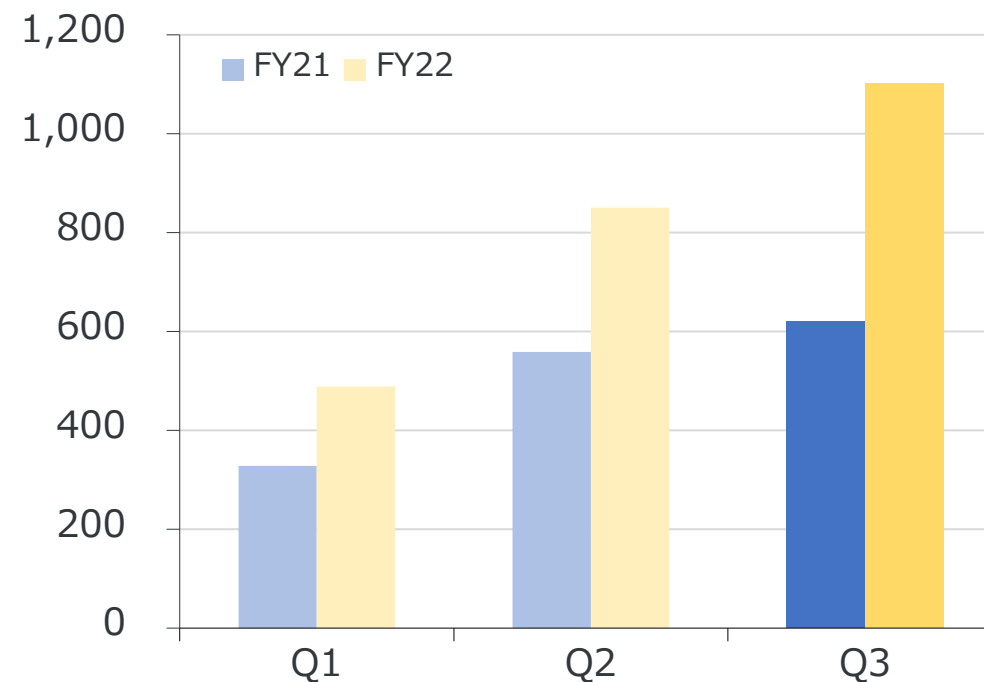
RFID

Q3累計 前年比：24.6%増



自動化

Q3累計 前年比：61.8%増

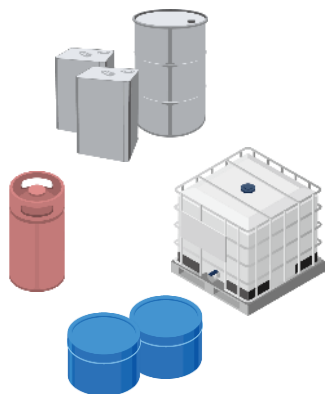


※自動化は、ハードウェア、ソフトウェアの数字（サプライ、保守は除く）

トピックス RFID/自動化ソリューションで企業のデジタル・サプライチェーン構築を支援

グローバル導入

大手半導体メーカーの調達物流をRFIDで革新



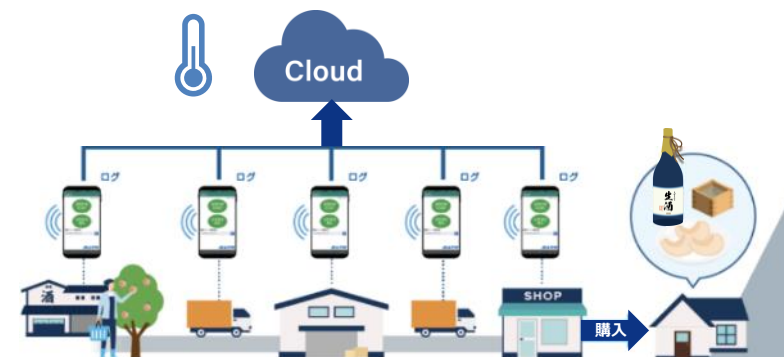
技術革新

ワイヤレス給電技術大手と協業。次世代スマートストアの実現に貢献



収益モデル多様化

温度ログ管理ソリューションを従量課金モデルで提供（日本）



●お客さまの課題	需要急増、サプライチェーン混乱	販売機会ロス、人手不足	トレーサビリティ品質
●ソリューション	複数国にまたがる多様なサプライヤ企業の出荷時RFIDタグgingを支援	小売業での現場知見を軸に、エナジス社の技術・商品、Wiliot IoT ピクセル*を組み合わせることで次世代ソリューションを創出	RFIDタグに温度ロガー機能を搭載し、クラウドサービスと組み合わせたトータルソリューションで提供。輸送中の温度を可視化
●優位性	グローバル直販体制、商品力（タグ、パッケージソフト）、タグgingノウハウ	●ソリューション例：陳列棚の商品数量・状態のリアルタイム可視化など	商品力（タグ、クラウドの機能）、ソリューション設計（使いやすさ）
●提供価値	最適生産・在庫、生産性向上	機会ロス低減、生産性向上、接客時間・質の向上	安心・安全
●今後の広がり	組み立て系製造業、スーパーや外食	パートナーシップで次の改善アクションに繋がるソリューションの開発・提供	食品、ロジ、製造業など。今後の海外展開も視野

2022年度 業績計画

(単位：百万円)

表内下段の（）内数値：ロシア事業を除外

	Q3累計		Q4		通期			
	実績	前年比	修正後計画	前年比	修正後計画	前回計画	増減	前年比
					2023年2月10日時点	2022年11月9日時点		
売上高	108,334 (94,408)	+17.3% (+10.8%)	34,665 (31,591)	+7.0% (+5.7%)	143,000 (126,000)	142,000 (127,000)	+1,000 (-1,000)	+14.6% (+9.5%)
営業利益	7,081 (4,542)	+49.3% (+8.7%)	2,418 (1,957)	+45.6% (+67.0%)	9,500 (6,500)	8,500 (7,000)	+1,000 (-500)	+48.3% (+21.4%)
経常利益	7,676	+66.5%	2,423	+67.5%	10,100	9,700	+400	+66.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,116	+73.3%	-516	-	4,600	4,400	+200	+21.2%

<参考>

EBITDA [※]	10,861	←2021年度通期	14,600	13,600	+1,000	+34.4%
----------------------------	---------------	-----------	---------------	---------------	---------------	---------------

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

FY22 想定レート : 134円/USD, 138円/EUR
 FY22 3Q為替レート(期中平均) : 136.49円/USD, 140.60円/EUR
 FY21 通期為替レート(期中平均) : 112.39円/USD, 130.54円/EUR

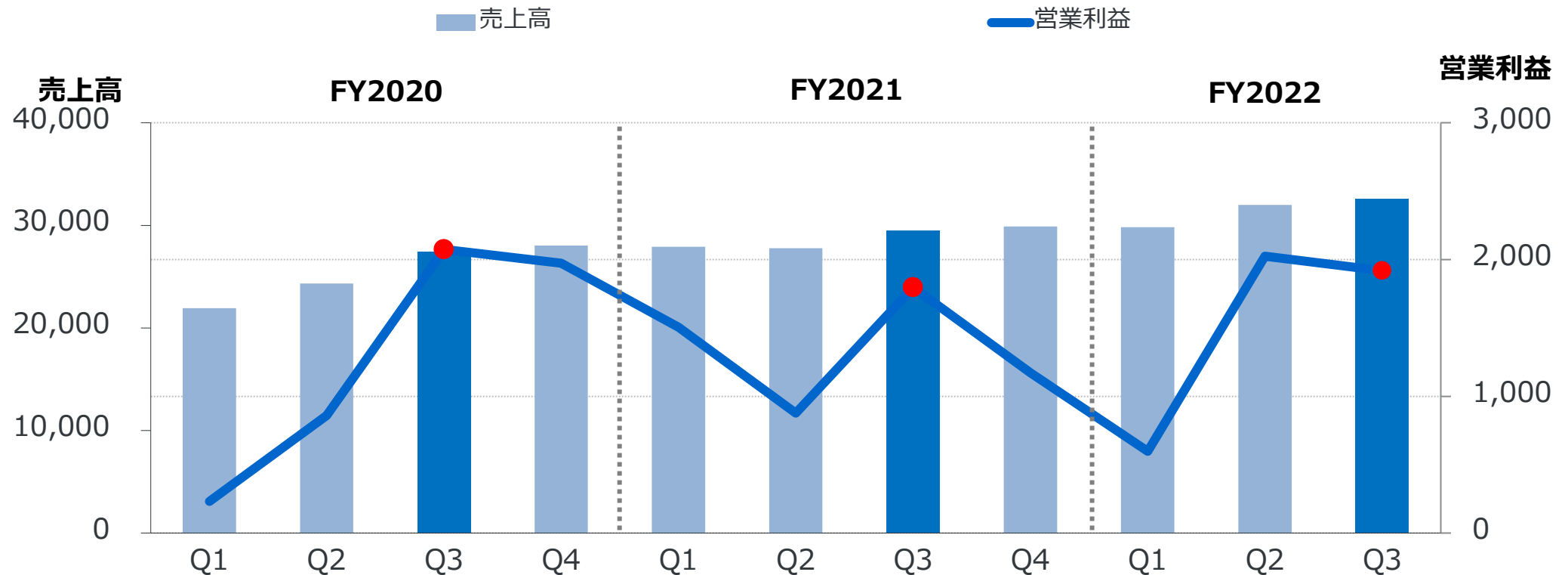
Appendix

補足資料 P.28~P.40

用語集 P.41~P.44

売上高・営業利益 推移（ロシア事業を除外）

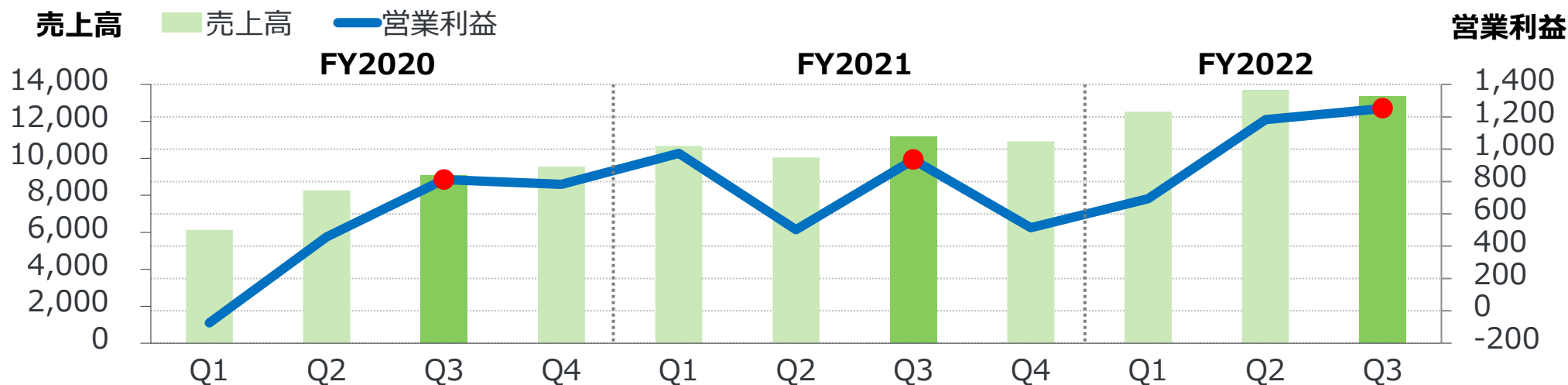
(単位：百万円)



	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	21,940	24,329	27,424	28,043	27,920	27,772	29,493	29,895	29,818	32,001	32,588
前年比	-17.9%	-11.7%	-2.3%	+3.9%	+27.3%	+14.2%	+7.5%	+6.6%	+6.8%	+15.2%	+10.5%
営業利益	232	859	2,075	1,973	1,505	877	1,797	1,172	598	2,024	1,919
前年比	-84.5%	-56.3%	+2.8%	+11.1%	6.5倍	+2.2%	-13.4%	-40.6%	-60.2%	2.3倍	+6.8%

売上高・営業利益 推移（ロシア事業を除外）

（単位：百万円）



売上高	6,133	8,277	9,071	9,552	10,672	10,043	11,155	10,924	12,527	13,707	13,343
前年比	-32.7%	-6.7%	-2.0%	+14.7%	+74.0%	+21.3%	+23.0%	+14.4%	+17.4%	+36.5%	+19.6%
営業利益	-75	457	811	783	974	502	935	514	693	1,182	1,252
前年比	-	-14.2%	+18.0%	2.5倍	-	+9.7%	+15.2%	-34.3%	-28.8%	2.4倍	+33.9%

地域別売上高及び営業利益構成

(単位：百万円)

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

売上高

92,388

FY21



108,334

FY22

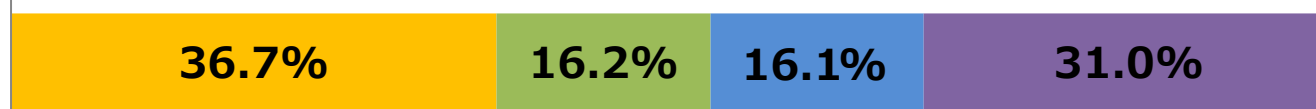


営業利益

*割合は消去を除く

4,665

FY21



7,709

FY22



営業利益率 FY21 日本：3.2%、海外：7.6%
 FY22 日本：3.7%、海外：10.6%

地域別売上高及び営業利益構成（ロシア事業を除外）

(単位：百万円)

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

売上高

85,186

FY21



94,408

FY22



営業利益

*割合は消去を除く

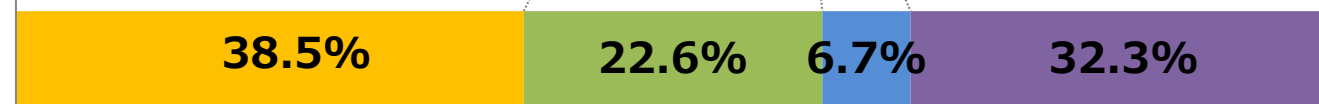
4,101

FY21



5,170

FY22

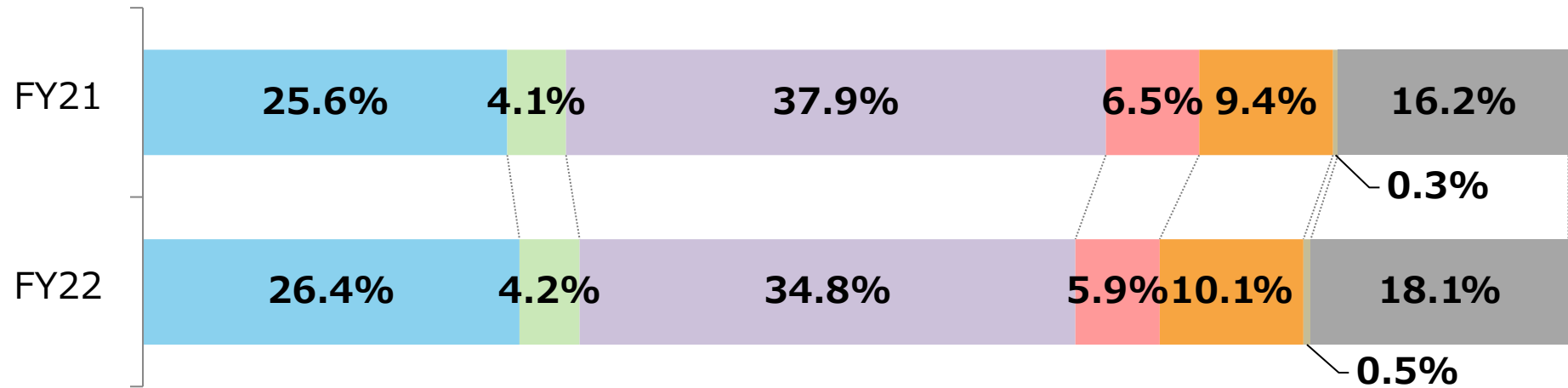


営業利益率 FY21 日本：3.2%、海外：7.6%
 FY22 日本：3.7%、海外：7.9%

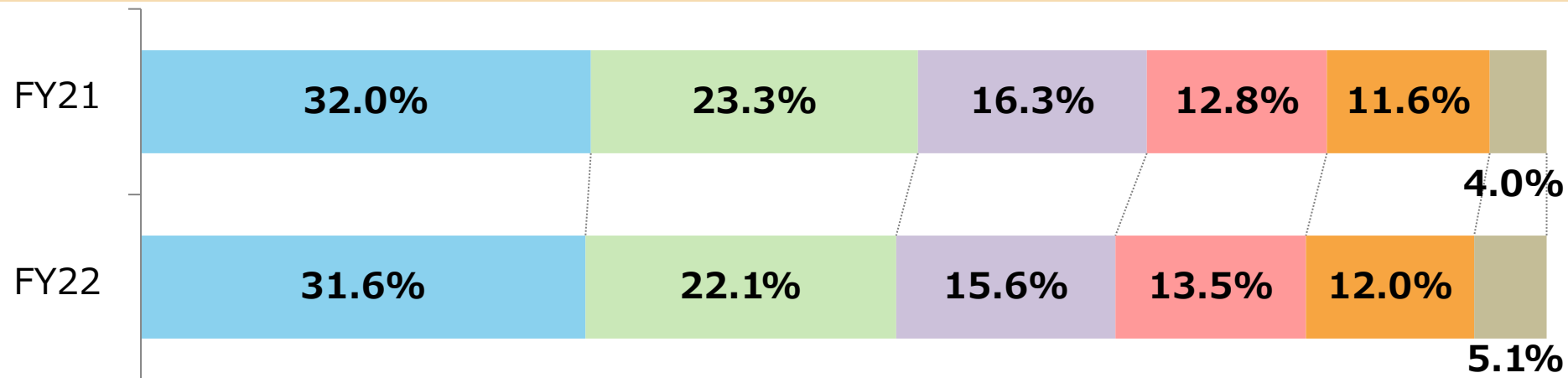
市場別売上高構成

■ マニュファクチャリング
 ■ ロジスティクス
 ■ リテール
 ■ ヘルスケア
 ■ フード
 ■ 公共
 ■ その他

海外 *主な販社。工場・プライマリー専業会社は除く



日本 *保守等は除く



売上高及び営業利益構成（事業別・地域別）

（単位：百万円）

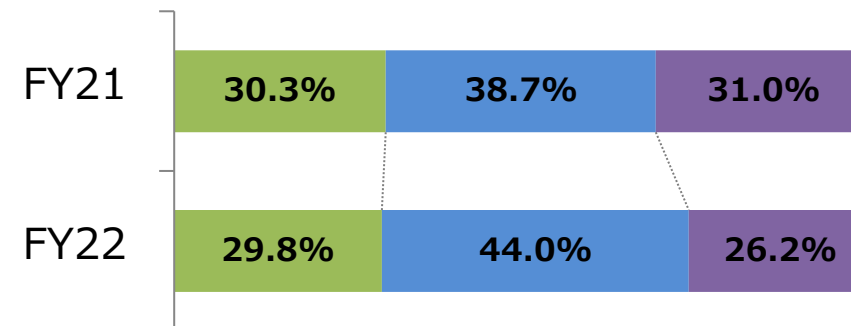
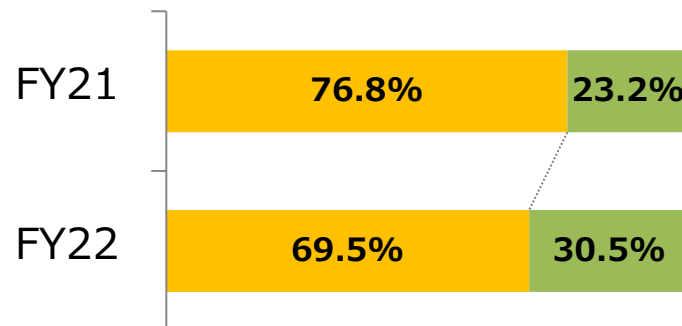
■ ベース ■ プライマリー

■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

売上高

39,072

53,504

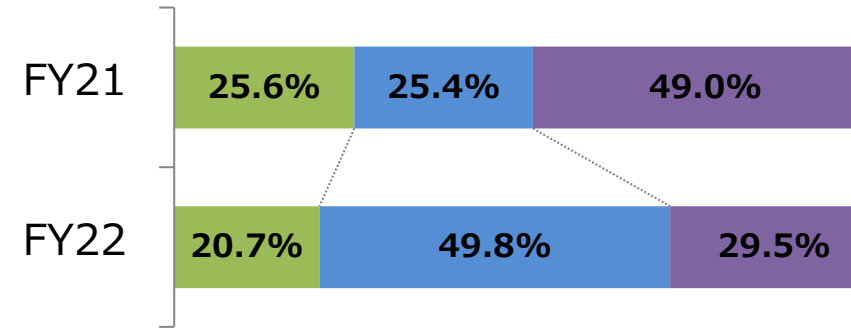
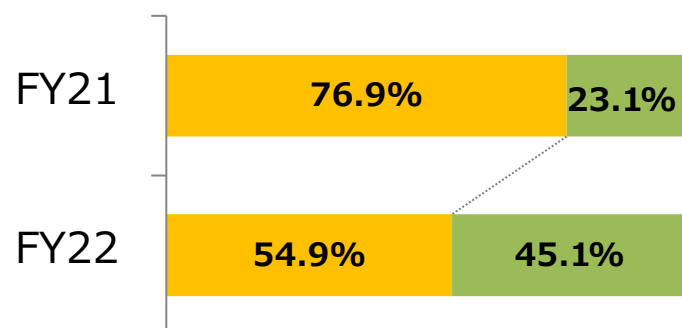


営業利益

*割合は消去を除く

2,975

5,666



営業利益率：

FY21 ベース：7.5%、プライマリー：7.4%

FY22 ベース：8.6%、プライマリー：16.0%

FY21 米州：6.3%、欧州：4.9%、

アジア・オセアニア：11.8%

FY22 米州：7.5%、欧州：12.3%、

アジア・オセアニア：12.2%

売上高及び営業利益構成（事業別・地域別）（ロシア事業を除外）

（単位：百万円）

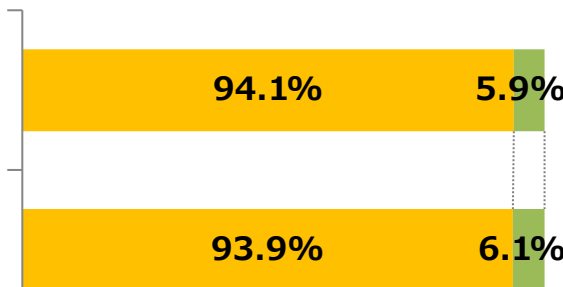
■ ベース ■ プライマリー

■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

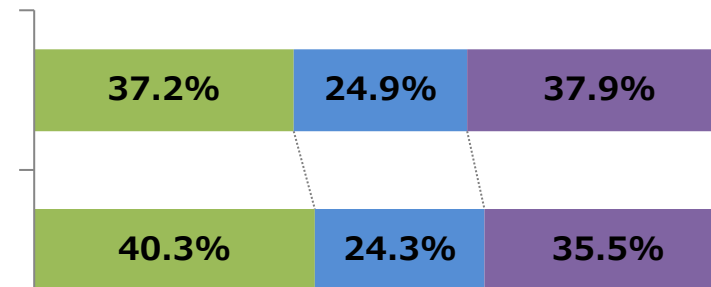
売上高

31,871

FY21

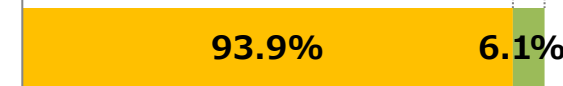


FY21

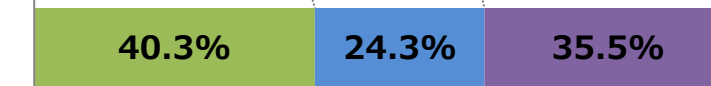


39,578

FY22



FY22

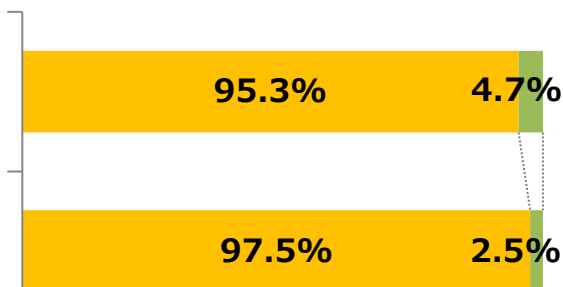


営業利益

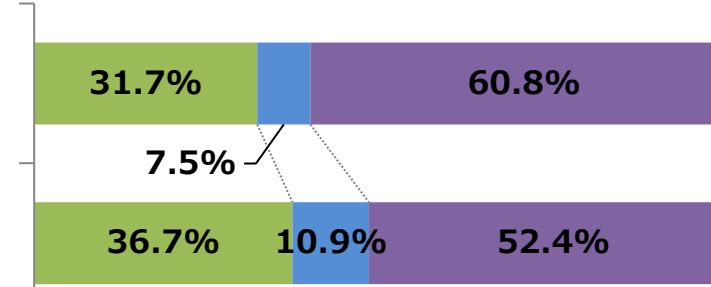
*割合は消去を除く

2,411

FY21

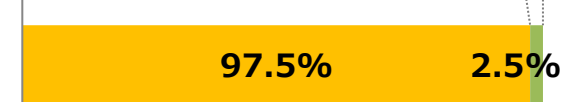


FY21

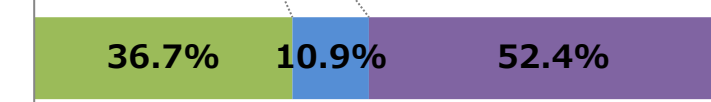


3,128

FY22



FY22



営業利益率：

FY21 ベース：7.5%、プライマリー：5.9%

FY22 ベース：8.6%、プライマリー：3.3%

FY21 米州：6.3%、欧州：2.2%、アジア・オセアニア：11.8%

FY22 米州：7.5%、欧州：3.7%、アジア・オセアニア：12.2%

事業別内訳

（単位：百万円）

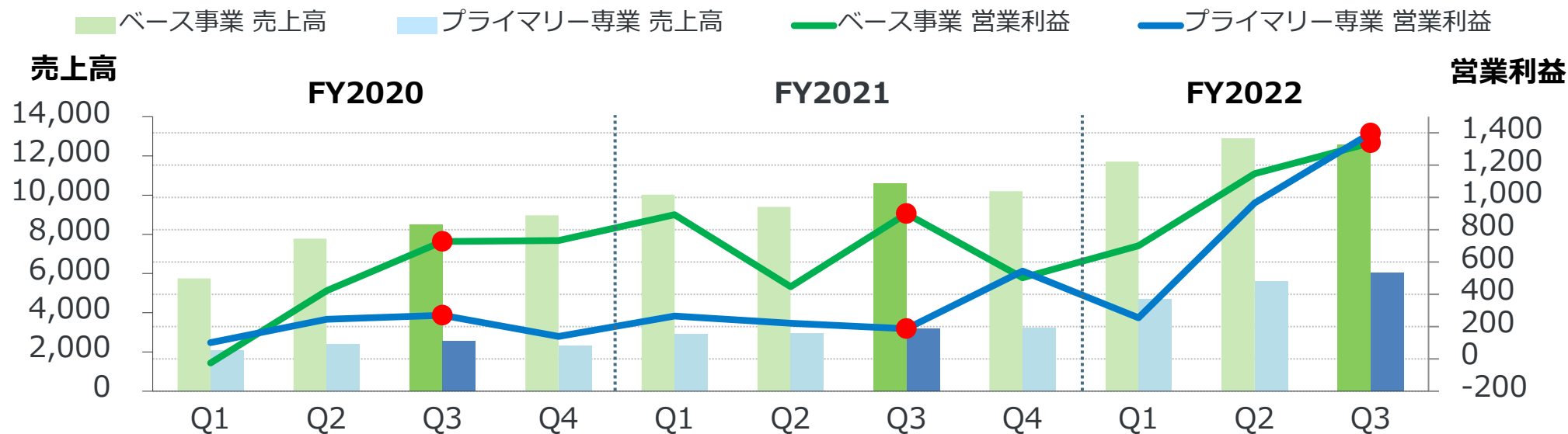
		FY2022	FY2021	増減	増減	
		Q3	Q3		前年比	除く為替
ベース事業	売上高	12,574	10,578	+1,996	+18.9%	+2.3%
	営業利益	1,338	900	+438	+48.7%	+28.9%
プライマリー專業	売上高	6,051 (769)	3,209 (576)	+2,842 (+192)	+88.6% (+33.4%)	+36.9% (+26.1%)
	営業利益	1,398 (13)	186 (20)	+1,211 (-6)	7.5倍 (-33.7%)	5.4倍 (3.0倍)
消去	営業利益	-99 (-99)	14 (14)	-114 (-114)	-	-
合計	売上高	18,626 (13,343)	13,788 (11,155)	+4,838 (+2,188)	+35.1% (+19.6%)	+10.3% (+3.5%)
	営業利益	2,637 (1,252)	1,101 (935)	+1,536 (+317)	2.4倍 (+33.9%)	+88.4% (+19.7%)

		FY2022	FY2021	増減	増減	
		累計	累計		前年比	除く為替
ベース事業	売上高	37,181	30,002	+7,179	+23.9%	+7.7%
	営業利益	3,187	2,242	+945	+42.1%	+24.0%
プライマリー專業	売上高	16,322 (2,396)	9,070 (1,869)	+7,252 (+527)	+80.0% (+28.2%)	+29.5% (+17.7%)
	営業利益	2,618 (80)	673 (109)	+1,945 (-29)	3.9倍 (-27.2%)	2.8倍 (+67.2%)
消去	営業利益	-139 (-139)	58 (58)	-198 (-198)	-	-
合計	売上高	53,504 (39,578)	39,072 (31,871)	+14,432 (+7,707)	+36.9% (+24.2%)	+12.7% (+8.2%)
	営業利益	5,666 (3,128)	2,975 (2,411)	+2,691 (+716)	+90.5% (+29.7%)	+53.1% (+16.7%)

※表内下段の（）内数値：ロシア事業を除外

事業別 売上高・営業利益 推移

（単位：百万円）

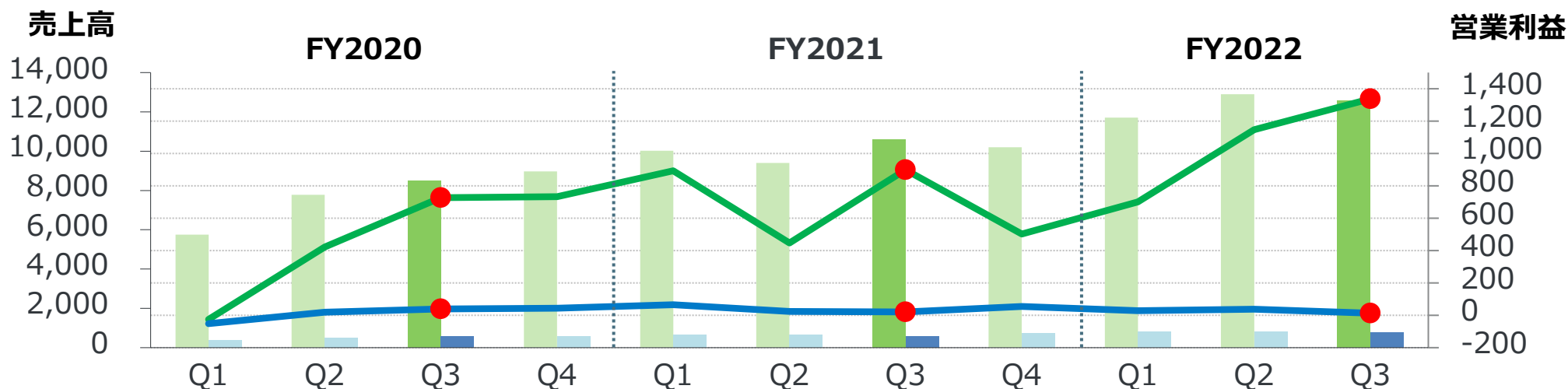


		FY2020				FY2021				FY2022		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
ベース	売上高	5,755	7,779	8,499	8,976	10,023	9,399	10,578	10,206	11,706	12,901	12,574
	前年比	-32.6%	-6.1%	-3.0%	+15.2%	+74.2%	+20.8%	+24.5%	+13.7%	+16.8%	+37.2%	+18.9%
	営業利益	-26	423	727	733	894	447	900	502	701	1,147	1,338
	前年比	-	-18.2%	-1.8%	2.1倍	-	+5.8%	+23.7%	-31.5%	-21.5%	2.6倍	+48.7%
プライマリー	売上高	2,089	2,389	2,546	2,313	2,905	2,955	3,209	3,217	4,688	5,582	6,051
	前年比	-10.3%	-2.6%	+7.9%	+8.7%	+39.1%	+23.7%	+26.1%	+39.0%	+61.4%	+88.9%	+88.6%
	営業利益	100	245	270	139	266	220	186	544	254	966	1,398
	前年比	-	4.0倍	4.4倍	22.0倍	2.6倍	-10.1%	-31.0%	3.9倍	-4.6%	4.4倍	7.5倍

事業別 売上高・営業利益 推移（ロシア事業を除外）

（単位：百万円）

■ ベース事業 売上高 ■ プライマリー専業 売上高 — ベース事業 営業利益 — プライマリー専業 営業利益



		FY2020				FY2021				FY2022		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
ベース	売上高	5,755	7,779	8,499	8,976	10,023	9,399	10,578	10,206	11,706	12,901	12,574
	前年比	-32.6%	-6.1%	-3.0%	+15.2%	+74.2%	+20.8%	+24.5%	+13.7%	+16.8%	+37.2%	+18.9%
	営業利益	-26	423	727	733	894	447	900	502	701	1,147	1,338
	前年比	-	-18.2%	-1.8%	2.1倍	-	+5.8%	+23.7%	-31.5%	-21.5%	2.6倍	+48.7%
プライマリー	売上高	378	498	571	576	648	643	576	717	821	806	769
	前年比	-34.5%	-15.0%	+14.9%	+7.3%	+71.4%	+29.2%	+0.8%	+24.6%	+26.6%	+25.3%	+33.4%
	営業利益	-52	19	39	43	65	24	20	55	28	38	13
	前年比	-	-	-	-	-	+25.0%	-48.2%	+29.2%	-56.7%	+56.7%	-33.7%

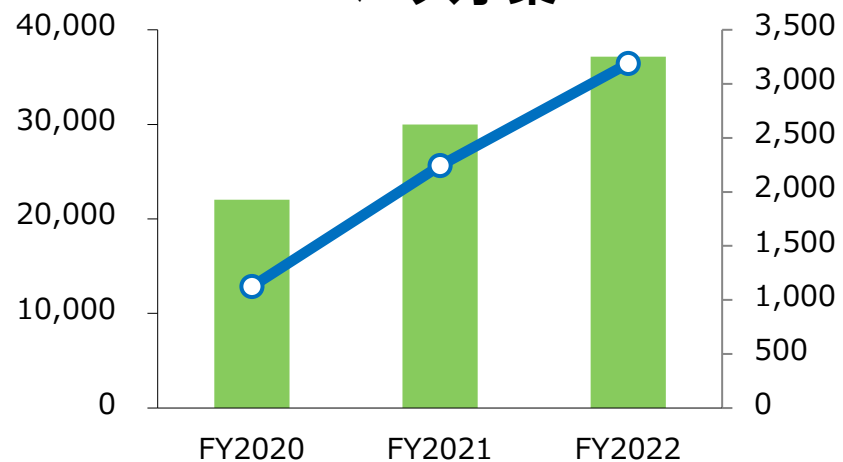
事業別及び地域別売上高及び営業利益推移

事業別

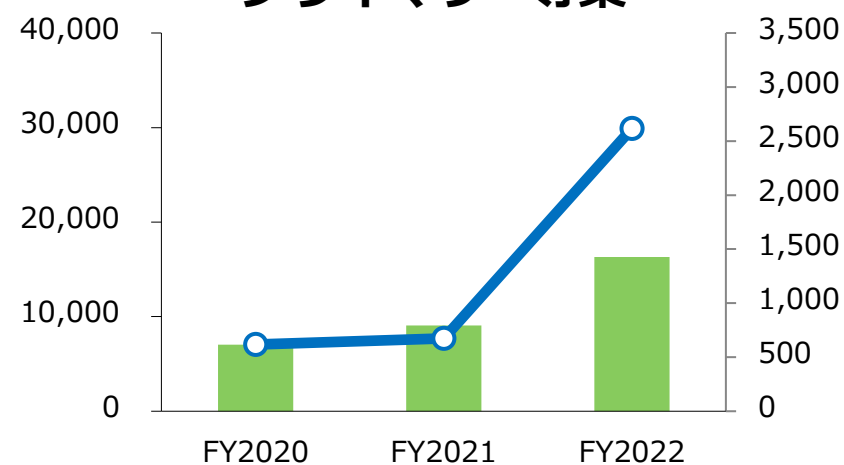
売上高 営業利益

(単位：百万円、左軸：売上高、右軸：営業利益)

ベース事業

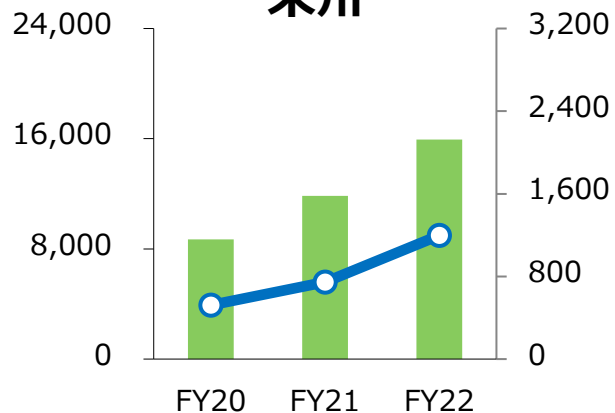


プライマリー専業

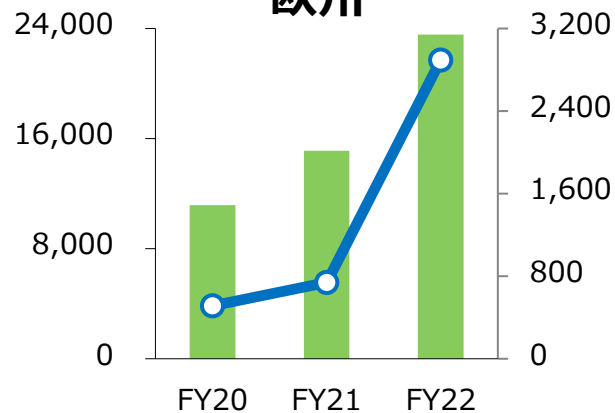


地域別

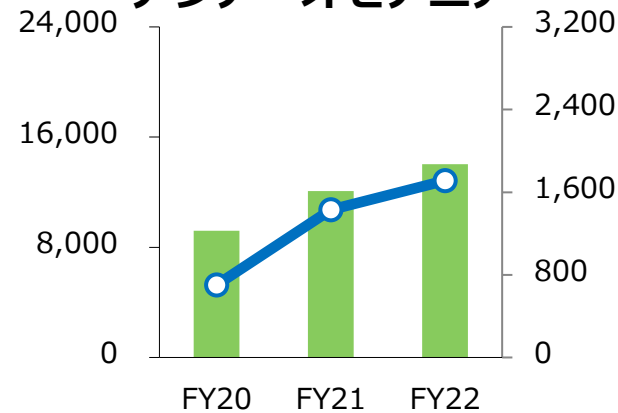
米州



欧州

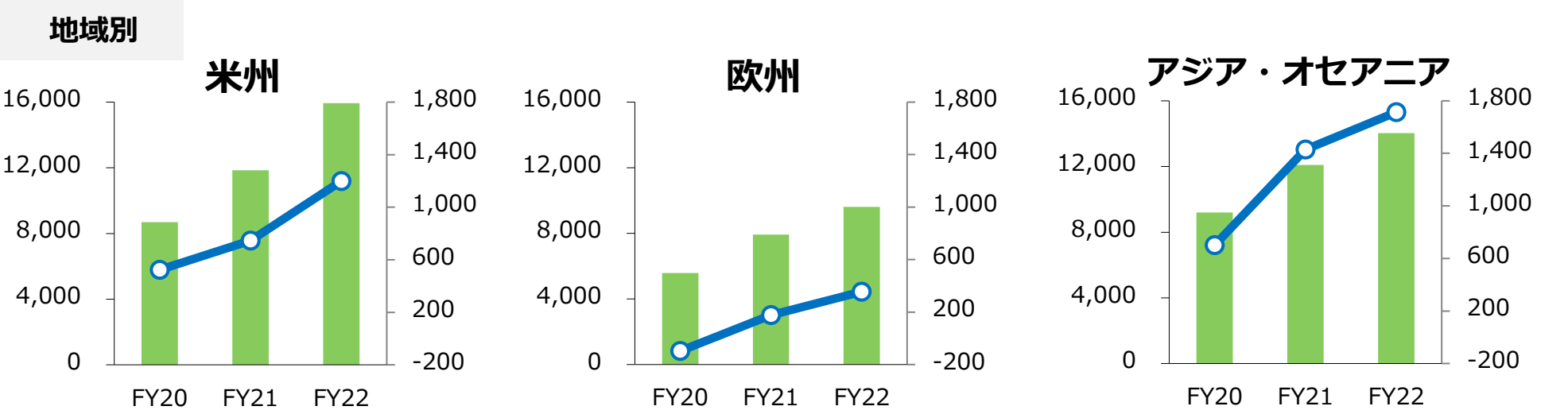
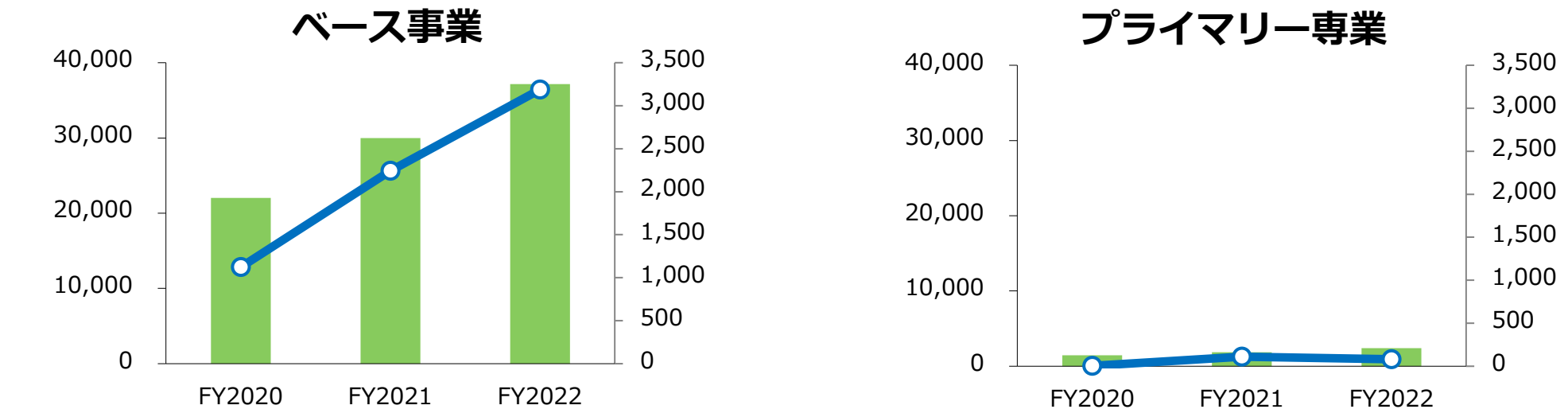


アジア・オセアニア



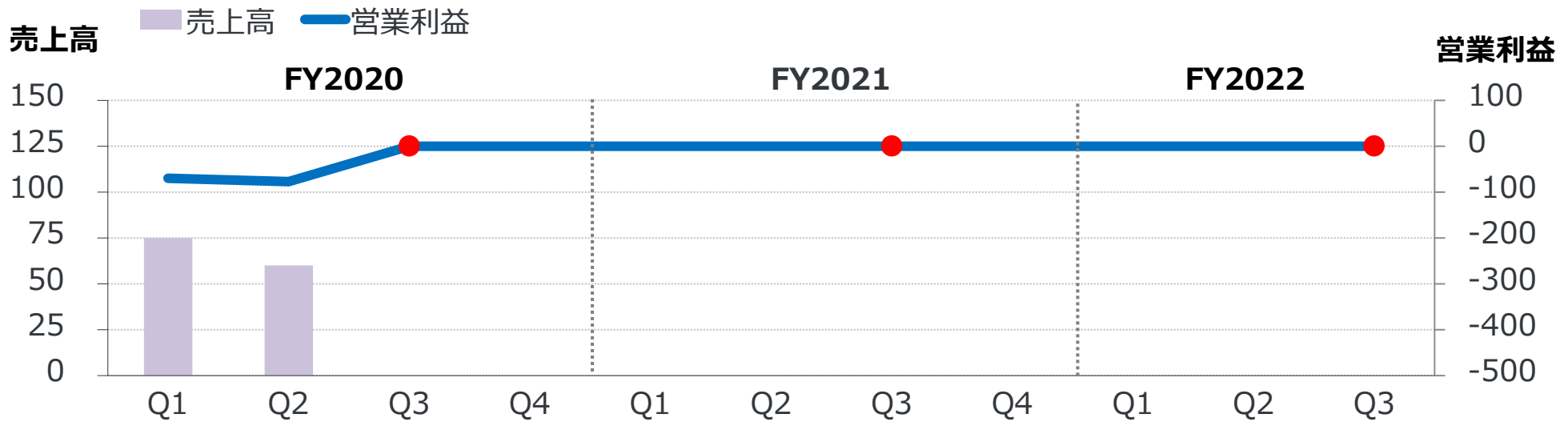
事業別及び地域別売上高及び営業利益推移（ロシア事業を除外）

売上高
 —○— 営業利益
 （単位：百万円、左軸：売上高、右軸：営業利益）



売上高・営業利益 推移

(単位：百万円)



売上高	75	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	-24.6%	-35.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	-70	-77	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※IDP事業：2020年9月、全株式をDataLase Holdings Ltd.に譲渡

用語集 (1/4)

サトー独自のコンセプト/取り組み		説明 ※
1	自動認識ソリューション事業	DCS & Labelingを展開。具体的には、お客さまの課題に基づいて自社で開発・製造したバーコードプリンタやラベル、自社で設計したソフトウェアやサービス、外部パートナーの技術や商品などを組み合わせて提供。本事業は海外と日本に区分され、海外はベース事業とプライマリー專業から構成される。
2	ベース事業	バーコードや商品価格、製造年月日、消費期限など可変情報をタギングするビジネス。
3	プライマリー專業	商品ラベルなどの固定情報ラベルをタギングするビジネス。Achernar（アルゼンチン）、Prakolar（ブラジル）、Okil（ロシア）、X-Pack（ロシア）の4社からなる。 なお、ロシア事業は外部環境の不透明感などにより、計画/目標から除外。
4	IDP事業	IDP (Inline Digital Printing) に関わる開発・製造・販売。2020年9月、本事業を推進していた連結子会社DataLase Ltd.の全株式をDataLase Holdings Ltd.に譲渡。 IDPとは、感熱顔料を含む塗料をさまざまな基材に塗布し、レーザー照射による発色でダイレクト印字ができる印刷技術。
5	コト売り	商品の単品売りではなくハードウェアやサブライ、保守サービス、ソフトウェア等を組み合わせたソリューションを、ROIの提示を含めて提案する売り方。単品売りの「モノ売り」に対する概念。
6	タギング	お客さまの現場で人やモノにIDや位置などの情報を物理的にひも付けし、それを上位システムに受け渡すこと。すなわち現物と情報を一致させ、デジタル化された情報を活用できるようにする作業。 この「現物と情報の一致」は、商品に価格等の情報をひも付けするハンドラベラーの時代から続くサトーの事業コンセプト。
7	DCS & Labeling (DCS: Data Collection Systems)	バーコードやRFIDなどの自動認識技術とプリンタやラベルなどの商品・サービスを活用して、さまざまな現場にある人やモノの情報 (= Data) を正確かつ効率的に収集 (= Collection) する仕組み (= Systems) と、情報を最適な形でひも付けするタギング (含むLabeling) を提供するサトーグループのビジネスモデル。 また、お客さま課題の高度化を受けて、オープンなイノベーションやパートナーシップを活用し、本ビジネスモデルに画像認識・音声認識や位置測位技術、センサーなど、新たな技術を組み合わせることで、お客さま課題の解決手法をさらに向上させている。

※下線付き用語は別途説明項目あり

用語集 (2/4)

サトー独自のコンセプト/取り組み (続き)		説明
8	Tagging for Sustainability	DCS & Labelingと同様にタギングを核としながらも、ラベルにとどまらないさまざまな技術・手法を取り入れた、高度化したタギングでお客様の経営課題や社会課題を解決し、持続可能な世界への貢献をめざすDCS & Labelingを進化させたビジネスモデル。
9	現場力	さまざまな市場・業界のお客様の現場と向き合い、運用を理解し、課題の本質を捉えて最適な解決策を提供する力。カバレッジ(現場を知ることで蓄積された幅広い「市場×業界×用途」の課題へ対応する力)、インテグレーション(戦略パートナーとの共創に基づき、商品・サービス・技術を統合して提供する力)、メンテナンス(継続的なソリューション提供でお客様の信頼を醸成し、深く、長い関係を構築する力)の3つの要素で構成される。
10	全員営業	インサイドセールスやマーケティングなど営業以外の部門で商談創出を行い、営業はより高度なソリューション提案に専念することで営業活動の効率と質を高めること。加えて、バリューチェーンの全ての部門がお客様志向を追求すること。
11	三行提報	社員が現場でキャッチした、会社を良くするための情報やアイデアを約三行（100～150文字）にまとめて、毎日経営トップに直接提出するサトー独自の取り組み。経営トップはいち早く社内外の環境変化を把握し、迅速な意思決定や必要な施策を講じ、社員は経営者と同じ目線で物事を考える「全員参画の経営」に寄与。また経営トップに直接提出することから、不正や不適切な行為などを防ぐモニタリングとしての役割も担っており、コーポレートガバナンスの面においても効果を発揮。 1976年から始まり、近年は海外拠点の導入も増えている。
商品・サービス・技術		説明
1	メカトロ商品	プリンタやラベル自動貼付機器、スキャナ、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど、 <u>サプライ商品</u> 以外のすべて。粗利率は <u>サプライ商品</u> よりも高い。プリンタはマレーシア、ベトナムおよび台湾にて製造。
2	サプライ商品	<u>可変情報ラベル</u> 、RFIDタグ、プライマリラベル（商品シール）、リボンなどの消耗品。粗利率は <u>メカトロ商品</u> よりも低いが、リピートビジネスのため販売管理費率は小さい。

用語集 (3/4)

商品・サービス名・技術 (続き)		説明
3	自動認識ソリューション	<u>DCS & Labeling</u> を実現するための商品・サービス。具体的にはプリンタ、ラベル、ソフトウェア、保守サポートなどの組み合わせ。加えて、近年は複雑化・多様化するお客さま課題に応えるために自前主義に拘らず、パートナーシップを推進することにより実現をめざす。例えば位置測位技術を用いて人・モノの位置情報を取得し、作業員や在庫の動きをリアルタイム捕捉することで、工数・作業時間の見える化や製造工程の進捗管理を実現。
4	SOS (SATO Online Services)	お客さまのプリンタをクラウドに接続して遠隔でモニタリングを行うサービス。これにより予防保守やエラー時の早期復旧が可能となる。またお客さまはプリンタの稼働・活用状況を一覧でき、資産管理が容易となる。一方サトーにとっては、予防保守の実現による保守人員の労働生産性向上や、保守人員が少ない海外におけるサポート向上に寄与。
5	AEP (Application Enabled Printing)	プリンタに内蔵された知能がラベル発行作業を最適化。PCを介さずにプリンタ単体で他のシステムとの連携も可能。
6	可変情報ラベル	バーコードや商品価格、製造年月日、消費期限など、お客さまの現場で必要に応じて変化させる情報を印字する用途のラベル。必要な時に必要な分だけ発行できる点が、固定情報を一度に大量印刷するプライマリーラベル（商品シール）との大きな相違点。
7	RFID (Radio Frequency Identification)	自動認識技術の一つ。電波を利用してデータの読み書きを行い、①複数一括読み取り、②非接触での読み取り、③遮蔽物や汚損があっても可能な読み取り、④情報の書き換え、といったバーコードには無い特性を持つ。これにより、業務効率の飛躍的な向上が可能。

用語集 (4/4)

2012年以降に買収した 主な会社		説明
1	Argox Information Co., Ltd. (台湾)	2012年に買収したエントリー・モデルのプリンタの開発・製造・販売子会社。
2	Achernar S.A. (アルゼンチン)	2012年に買収したプライマリ専門子会社。
3	Magellan Technology Pty Ltd. (オーストラリア)	大量のRFIDタグを高速かつ正確に読み取ることができ、金属や液体の影響、および積層状態での読み取りに強いなどの優位性の高いRFID技術「PJM (Phase Jitter Modulation)」を含む同社の事業を2013年に譲り受け、SATO Vicinity Pty Ltd.を設立。
4	Okil-Holding, JSC (ロシア)	2014年に買収したプライマリ専門子会社。サトーホールディングスが75%を保有。同国のX-Packは関連会社。
5	Prakolar Rótulos Autoadesivos LTDA. (ブラジル)	2015年に買収したプライマリ専門子会社。
2017年以降に設立した 海外子会社		説明
1	X-Pack (ロシア)	シュリンクスリーブ、インモールド、軟包装の製造・販売を行い、サトーホールディングスが60%の株式を保有するプライマリ専門子会社。2017年設立。
2	SATO Productivity Solutions Mexico S.A. de C.V. (メキシコ)	自動車産業に焦点を当てて事業を展開し、サトーホールディングスがほぼ100%の株式を保有する販売子会社。2019年設立。

【本資料ご利用にあたっての注意事項】

- 本資料に記載の内容は全て2023年2月現在の情報をもとに作成したものです。
- 本資料に記載の内容は予告なく変更することがあります。
- 本資料で使用される商標、ロゴ、商号に関する権利は、当社またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。
- 本資料の内容に関する一切の権利につきましては当社に帰属し、本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾なしに転載または複製することを固くお断り致します。